

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	商工金融資金・金融対策
事業開始年度	昭和24年
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 大手企業と比較して経営基盤が脆弱で信用力・担保力に乏しい中小企業者の事業資金調達を支援し、経営の安定を図る必要がある。

所管課名		経済観光文化局		中小企業振興部		経営支援課	
基本 計画	施策コード	主 6-3-1	再				
	分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている					
	施策	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化					
	事業群	中小企業の競争力・経営基盤の強化					
	施策成果指標	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合(H34年度1.50%)					

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 福岡市内で事業を営む中小企業者	対象をどのような状態にしたいのか 大手企業と比較して経営基盤が脆弱で信用力・担保力に乏しい中小企業者の事業資金調達を支援し、経営の安定を図る

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む
制度改正の実施	・継続型バックアップ資金の創設 ・スタートアップ資金の申込要件の緩和 ・ステップアップ資金の申込要件の拡充 ・事業転換・多角化資金の充実・強化 ・設備対応資金の充実・一本化 ・受付場所の拡大 ・経営安定化特別資金の継続実施 ・小口事業資金など、利用の多い資金の金利引き下げ 十分な融資枠の確保:平成27年度融資枠 3,088億円 返済相談の実施:市内事業所 9,216件を訪問 相談窓口の運営:相談件数 8,790件		

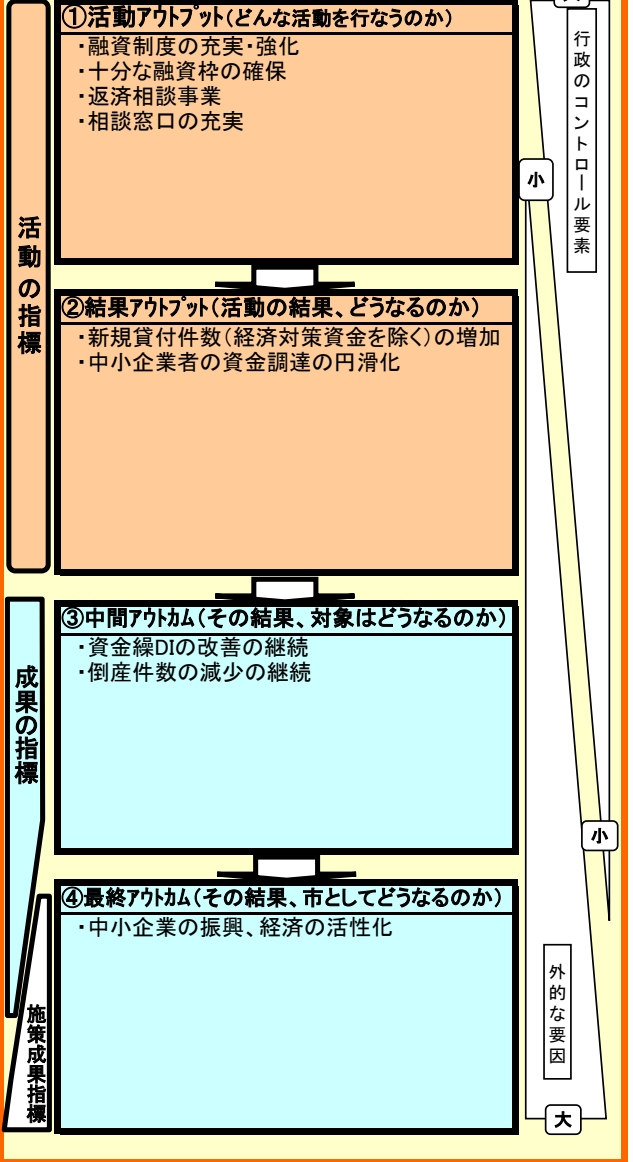
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	100,475,055	92,086,279	90,399,392
	歳入			
	特定財源	98,672,518	90,795,266	88,930,968
	一般財源	1,802,537	1,291,013	1,468,424

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	返済相談訪問件数	目標	8,000	8,000	年度
		実績	9,178	9,216	8,000
		達成率	114.7%	115.2%	
	新規貸付件数(経済対策資金を除く)	目標	5,715	5,507	年度
		実績	5,507	5,901	前年比改善
		達成率	96.4%	107.2%	
(成果の指標)	資金繰DI	目標	前年比改善(▲6.1)	前年比改善(▲4.2)	年度
		実績	▲4.2	▲4.0	前年比改善
		達成率			
	倒産件数	目標	前年比改善(137)	前年比改善(159)	年度
		実績	159	120	前年比改善
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	商店街の振興(商店街活力アップ事業、地域との共生を目指す元気商店街応援事業)
事業開始年度	昭和43年
根拠法令	中小小売商業振興法、中小企業振興条例
行政計画上の位置づけ	
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 大型商業施設の進出や消費者の消費動向の変化により、商店街がその魅力と活力を失い、その結果、これまで商店街が実施してきた地域経済や地域コミュニティを担う機能が衰え、地域が衰退している。このため、商店街を再び魅力的で、活力あふれるものとしたいと考えたため。
施策成果指標	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合1.50%(2021年)

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 商店街組織	対象をどのような状態にしたいのか 商店街組織が行う、経済活動やまちづくり活動への支援を行い、商店街のもつ「買い物の場」「地域コミュニティの担い手」としての機能を発揮し、活性化させる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☒ 委託含む	☒ 補助金含む	☐ 負担金含む
地域課題や住民ニーズに応える商店街の取組みを支援し、商店街と地域との連携強化を図るとともに、商店街を支える人材の確保に向けた支援を強化し、商店街の活性化を図る。			
【重点事業】			
1 商店街活力アップ事業			
①商店街活力アップ支援事業(補助金):(延べ)20団体			
②商店街活力アップ講座事業(講師派遣):(延べ)3団体			
③商店街マーケティング事業(委託調査):1団体			
④商店街空き店舗等再生事業(補助金):(延べ)5団体			
2 地域との共生を目指す元気商店街応援事業(補助金):1団体			

事業費(千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
歳入	歳出合計	23,130	16,422	19,118
	特定財源	4	0	2
	一般財源	23,126	16,422	19,116

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	商店街活力アップ事業活用商店街数	目標	35	34	32
		実績	39	29	
		達成率	111.4%	85.3%	
	地域との共生を目指す元気商店街応援事業活用商店街数	目標	2	1	1
		実績	1	1	
		達成率	50.0%	100.0%	
成果の指標※1	商店街の構成店舗数(1商店街当たりの平均店舗数)	目標	-	-	30年度
		実績	-	-	H25実態調査比較
		達成率	-	-	5%アップ(※2)
	地域団体との共同事業に取り組む商店街数(地域型・近隣型に占める割合)	目標	-	-	30年度
		実績	-	-	H25実態調査比較
		達成率	-	-	1.5倍(※3)

※1 H28年度から成果指標を新たに設定。実績はH25年度の実態調査を基準にしている。

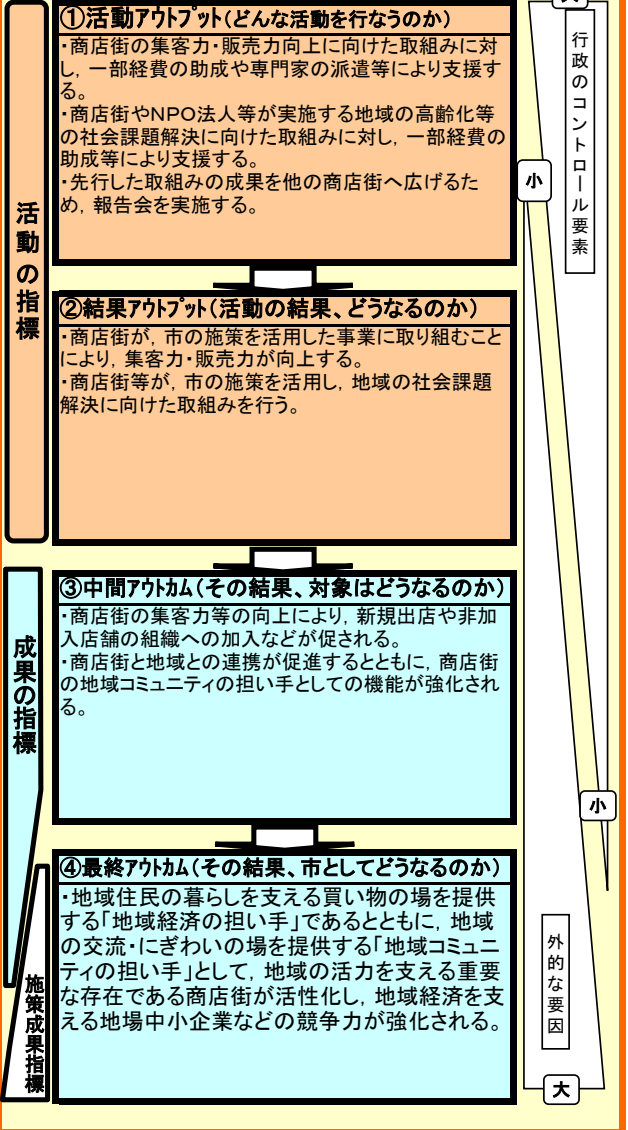
※2 H25実態調査結果:1商店街当たりの平均店舗数39.9店舗

※3 H25実態調査結果:地域型・近隣型商店街に占める割合30.6%

所管課名	経済観光文化局 中小企業振興部	地域産業支援課
基本	施策コード 主 6-3-2 再	
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている	
施策	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化	
事業群	商店街の活性化	
施策成果指標	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合1.50%(2021年)	

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		所管課名	経済観光文化局	中小企業振興部	地域産業支援課
事業名	伝統産業の振興(博多織技能開発養成学校支援事業、博多人形後継者育成事業、博多織・博多人形多角化支援事業)	基本計画	施策コード	主 6-3-3	再
事業開始年度	昭和49年	分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
根拠法令	伝統的工芸品産業の振興に関する法律	施策	地域経済を支える地場中小企業などの競争力強化		
行政計画上の位置づけ	第9次基本計画	事業群	伝統産業の振興		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 国指定の伝統的工芸品である博多織、博多人形は、数百年もの長い歴史の中で培われ、受け継がれてきた伝統工芸品であり、地域経済の発展に貢献してきたが、生活様式の変化による需要の減少による企業の零細化、後継者不足など厳しい状況にある。	施策成果指標	全国の中小企業従業者数に占める福岡市の割合1.50%(2021年)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか ○一般市民(福岡市民、国内外の観光客等) ○博多織、博多人形をはじめとする伝統産業業界	対象をどのような状態にしたいのか ○博多織、博多人形などの伝統工芸品の魅力が広く一般市民に認知されている。 ○伝統工芸品の認知度向上・販売額増加により、伝統産業業界全体の活性化がなされており、後継者が確保されている。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
実施手法 ☐ 委託含む ☒ 補助金含む ☒ 負担金含む

- 博多織技能開発養成学校支援事業
⇒ 博多織の後継者を育成する「博多織デベロップメントカレッジ」の活動を支援した。
- 博多人形後継者育成事業
⇒ 博多人形商工業協同組合の実施する後継者育成事業を支援した。
対象事業: 育成指導者支援事業、博多人形師育成塾
後継者育成研修講座、青年部事業
- 博多織・博多人形多角化支援事業
⇒ 若手作家にスポットを当てるとともに、大学や関係団体等と連携し、博多織・博多人形の魅力を全国に発信した。

	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
歳出合計		8,683	7,679	6,460
歳入	特定財源	-	-	-
	一般財源	8,683	7,679	6,460

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	博多織技能開発養成学校卒業生数	目標	10	10	32年度
		実績	10	5	0(※)
		達成率	100.0%	50.0%	8
	博多人形師育成塾修了者数	目標	15	15	設定なし
		実績	17	15	15
		達成率	113.3%	100.0%	100%
(成果の指標)	博多織の従事者数(人)	目標	373	368	30年度
		実績	368	366	366
		達成率	98.7%	99.5%	99.5%
	博多人形の従事者数(人)	目標	210	200	30年度
		実績	200	200	200
		達成率	95.2%	100.0%	100%

※本科が26年であるところ、27年度は学生募集を行っていないため、28年度卒業生は存在しない。

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)
	○博多織技能開発養成学校の活動を支援する。 ○博多人形商工業協同組合による後継者育成事業を支援する。 ○博多織・博多人形多角化支援事業を実施し、若手作家にスポットを当てるとともに、大学や関係団体等と連携し、博多織・博多人形の魅力を全国に発信する。
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)
	○博多織技能開発養成学校から、博多織産業を担う後継者候補が誕生する。 ○博多人形師育成塾から、博多人形産業を担う後継者候補が誕生する。 ○育成指導者支援事業、後継者育成研修講座、青年部事業の実施により、後継者の育成が行われる。 ○博多織・博多人形多角化支援事業の実施により、若手作家に作品発表の場が提供されるとともに、大学等と連携した取組みに注目が集まる。
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)
	○博多織産業の従事者数が増加する。 ○博多人形産業の従事者数が増加する。 ○博多織・博多人形多角化支援事業実施により ・本市伝統工芸品に対する注目が高まる。 ・若手作家に作品発表の場が提供され、意欲醸成に繋がる。 ・若手作家間、また若手作家と大学等との連携が強化される。
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)
	○後継者を中心とする積極的なPR活動により、本市伝統工芸品の魅力が市の内外で広く認知されている。 ○新しい感性による新製品の開発や、作家間または他ジャンルとの連携により、新たな販路が開拓され、産業として販売額が向上している。 ○上記環境の中で、後継者が確保されている

大
行政のコントロール要素

小

小

外的な要因

大

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	就活支援事業(旧就活支援プラザ事業)	所管課名	経済観光文化局 中小企業振興部	就労支援課
事業開始年度	平成21年度	基本	施策コード	主 6-5-1 再
根拠法令	なし	分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている	
行政計画上の位置づけ	なし	計画	施策	就労支援の充実
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に リーマンショックによる景気低迷により、平成22年度の新規採用を見送る企業ができたことから、新卒者の就職実現と地場中小企業の人材確保を目的として、事業を開始した。	施策成果指標	事業群	就労支援の取組み
			○就業機会の多さに対する満足度(H28:40%) ○市の施策による就労者数(H28:1200人) ○25歳から44歳までの女性の就業率(H28:70%)	

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 高校・大学等の新卒者(既卒3年以内の者を含む)及び地元企業	対象をどのような状態にしたいのか 新卒者の地元企業への就職 地元企業の新卒求人の充足

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む
高校・大学等の新卒者(既卒3年以内の者を含む)の求職活動並びに地元企業の求人活動を支援する。 ○合同会社説明会(平成28年1月8日開催) ・出展企業:福岡都市圏に勤務地等があり、正社員求人を行う企業60社 ・参加対象者:大学等の平成28年3月卒業予定者(既卒3年以内を含む)			

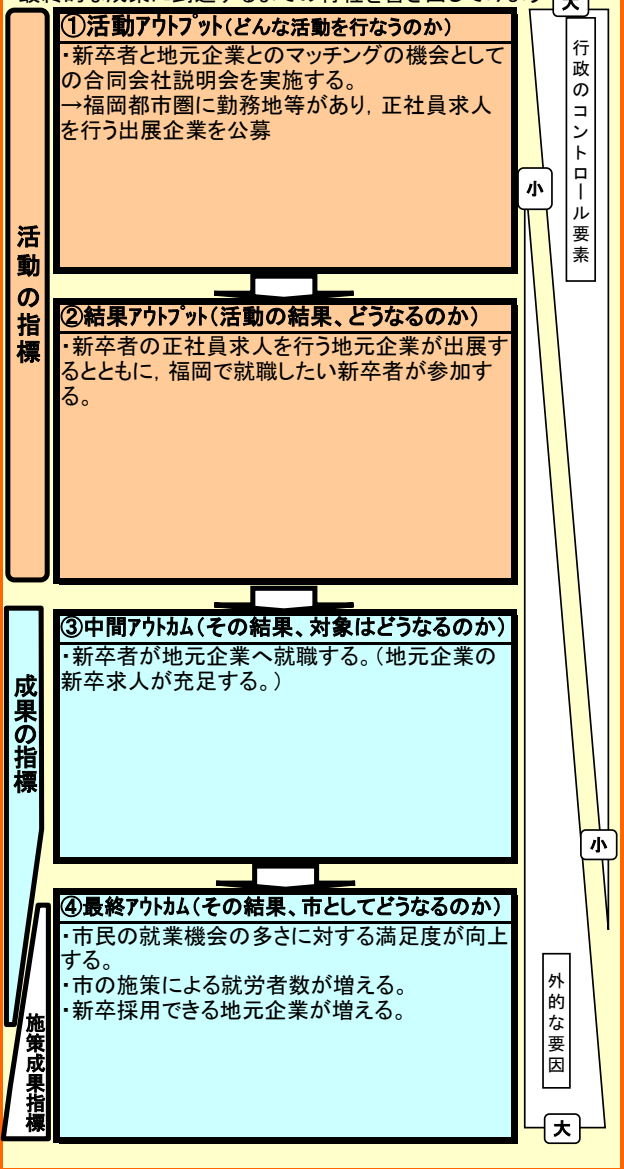
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	5,722	3,593	3,623
	歳入			
	特定財源	—	600	600
	一般財源	5,722	2,993	3,023

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	合同会社説明会出展企業数	目標	—	—	年度
		実績	60	60	—
		達成率	—	—	—
	合同会社説明会における参加者数	目標	—	—	年度
		実績	504	437	—
		達成率	—	—	—
(K P I) 成果の指標	合同会社説明会における採用者数	目標	—	—	年度
		実績	43	40	—
		達成率	—	—	—
		目標			年度
		実績			—
		達成率			—

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		中高年雇用促進事業	所管課名	経済観光文化局	中小企業振興部	就労支援課	
事業開始年度		平成24年度	基本 計 画	施策コード	主 6-5-1	再	
根拠法令		なし		分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
行政計画上の位置づけ		なし		施策	就労支援の充実		
				事業群	就労支援の取組み		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 中高年求職者の民間企業への早期転職の実現を図るため、平成24年度より、事業スキームを変更し、事業を開始した。平成27年度からは中高年求職者の正社員就職支援のために実施。		施策 成 果 指 標	○就業機会の多さに対する満足度(H28:40%)			
				○市の施策による就労者数(H28:1,200人)			
				○25 歳から44 歳までの女性の就業率(H28:70%)			

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 福岡市内に居住し、福岡市 就労相談窓口を利用する 40、50歳代の中高年求職者	対象をどのような状態にしたいのか 正社員就職の実現

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法を何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☒ 補助金含む	☐ 負担金含む
各区の就労相談窓口で40、50歳代の中高年求職者の就職支援(求人開拓、求人企業とのマッチング等)を実施するとともに、当該中高年求職者を正規雇用した地元企業に、雇用奨励金を交付する。 (雇用奨励金:対象労働者1人につき45万円。)			

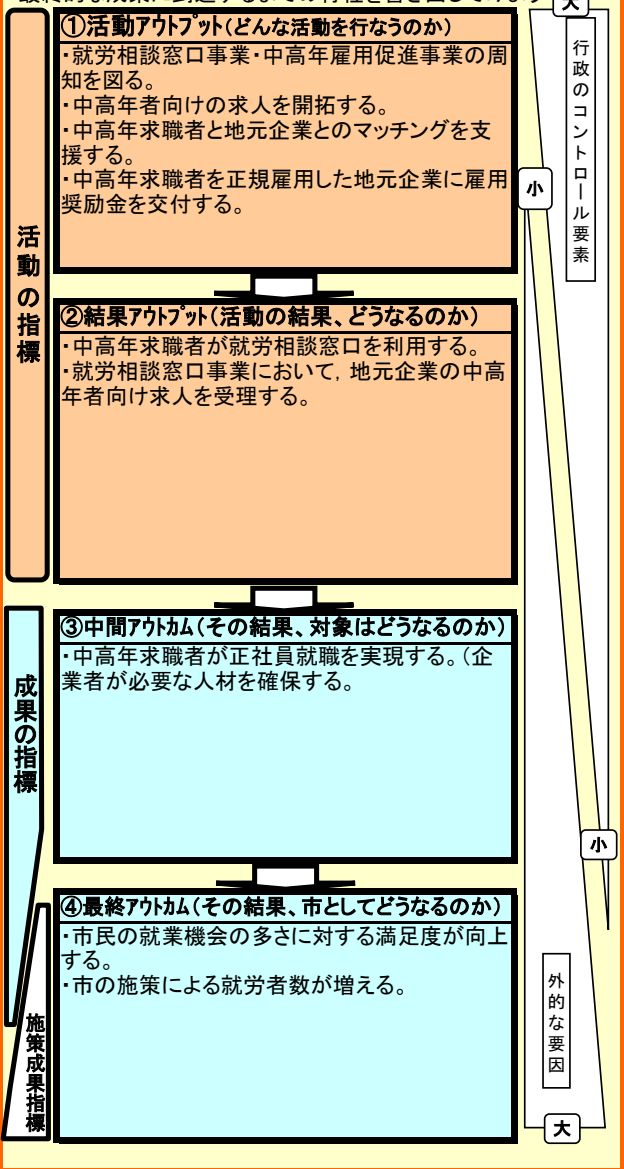
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	15,251	4,050	4,500
	歳入			
	特定財源	—	—	—
	一般財源	15,251	4,050	4,500

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績			目 標	
			26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	求人数	目標	—	—	—	年度
		実績	577	327		
		達成率	—	—		
	紹介人数	目標	—	—	—	年度
		実績	189	129		
		達成率	—	—		
(成果の指標) (KPI指標)	正社員就職者数	目標	48	20	15	年度
		実績	26	32		
		達成率	54.2%	160.0%		
		目標				年度
		実績				
		達成率				

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		就労相談窓口事業		所管課名	経済観光文化局	中小企業振興部	就労支援課				
事業開始年度		平成22年度		基本計画	施策コード	主 6-5-1	再				
根拠法令		なし			分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている					
行政計画上の位置づけ		なし		計画	施策	就労支援の充実					
					事業群	就労支援の取組み					
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 各区市民相談窓口で実施されていた、国の事業である高齢者就職相談窓口の廃止に伴い、市民の求職活動の利便性維持のため事業を開始した。			施策成果指標	○就業機会の多さに対する満足度(H28:40%) ○市の施策による就労者数(H28:1,200人) ○25歳から44歳までの女性の就業率(H28:70%)						

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 15歳以上の求職者及び就労への一歩を踏み出せない無業の若者やその保護者	対象をどのような状態にしたいのか 働き方のニーズに合った就職の実現

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む
各区の就労相談窓口において、15歳以上の求職者の就職相談に対し、キャリア・コンサルタントによる個別相談(一般相談)を行うほか、ビジネスマナーやビジネススキルなどのセミナーや求人企業とのマッチング支援などを行う。また、博多区の就労相談窓口においては、就職への一歩を踏み出せない若者とその保護者などに対し、臨床心理士によるカウンセリング(専門相談)を実施し、経済的自立を支援する。			

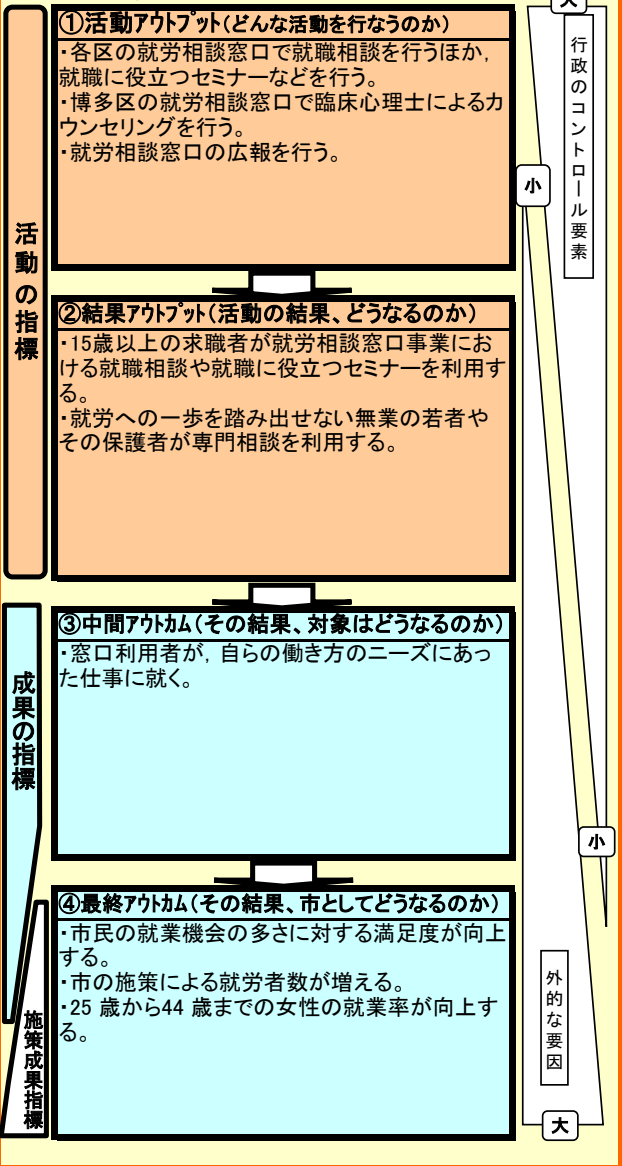
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	45,372	46,836	46,949
	歳入			
	特定財源	—	—	—
	一般財源	45,372	46,836	46,949

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	相談件数 (一般+専門)	目標	—	—	年度
		実績	4,702	4,664	—
		達成率	—	—	—
	セミナー開催回数 (一般)	目標	—	—	年度
		実績	97	95	—
		達成率	—	—	—
(成果の指標) KPI指標	就職率	目標	80.0%	80.0%	年度
		実績	79.3%	82.1%	82.0%
		達成率	99.1%	102.6%	—
	正社員就職件数	目標	—	—	年度
		実績	119	136	115件
		達成率	—	—	—

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	インキュベート事業	所管課名	経済観光文化局	創業・立地推進部	創業・大学連携課
事業開始年度	平成12年度	基本	施策コード	主 7-1-1	再
根拠法令	なし	分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
行政計画上の位置づけ		施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 新しい産業の振興を推進し、もって地域経済の振興を図るため、インキュベート施設を設置することとしたもの。	事業群	チャレンジ人材の集積、活躍支援		
		施策成果指標	新設事業所数850(中間目標値 820事業所/年、目標値850事業所/年)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 創業予定者又は創業5年未満の者	対象をどのような状態にしたいのか インキュベート施設において資料負担の軽減及び経営指導等の支援を行うことで、自立した安定的な経営を行うことができる創業者を育成する。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	■ 委託含む	■ 補助金含む	■ 負担金含む
①インキュベート施設の運営 入居募集審査会 年2回 ・創業者育成補助金(上限3万円、家賃の1/2補助) 継続2社 606千円 ・地域産業振興負担金 …福岡ビジネス創造センター運営委員会に対する負担金 26,200千円 ・共益費及び負担金 …賃貸借に係る共益費及び電気光熱費負担金 22,182千円 ・使用料等の口座振替データ変換等委託 床清掃業務委託等(施設維持及び施設使用料等の請求にかかる委託業務)…314千円 ・インキュベート施設調査業務委託…2,743千円 ②専門家派遣による経営指導 計 76回 (1企業につき、1か月～2か月に1回) ③公的支援機関等による支援施策の情報提供 毎月の定例自治会及びメーリングリスト等を利用して、適宜情報提供。			

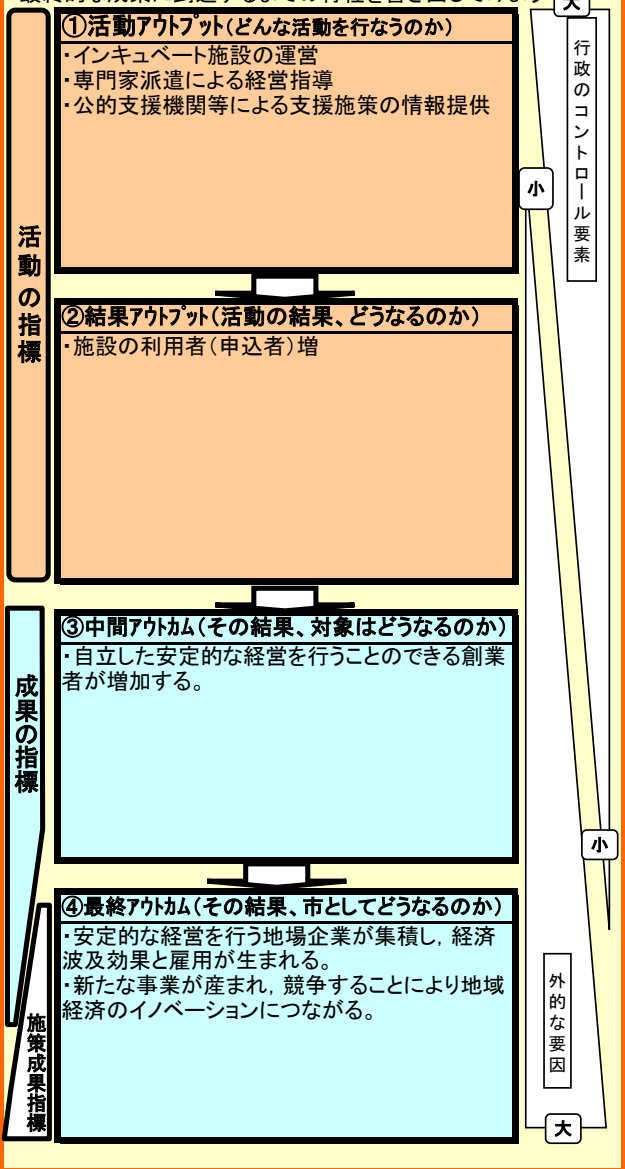
事業費(千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
歳入	歳出合計	134,455	134,817	128,961
	特定財源	9,166	8,737	11,568
	一般財源	125,289	126,080	117,393

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	インキュベート施設の満床化(年度末の入居者数)	目標 43	43	28	年度
		実績 39	39		28
		達成率 90.7%	90.7%		
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標)	新設事業所数	目標 820	-	-	34年度
		実績 1,892	-		850
		達成率 230.7%	-		
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	スタートアップカフェの運営
事業開始年度	平成26年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に スタートアップ都市づくりの拠点として、スタートアップカフェを開設し、 スタートアップの裾野を拡大するための場の提供、及び様々な支援 団体のネットワークハブ機能を提供。

所管課名		経済観光文化局	新産業・立地推進部	創業・大学連携課		
基本計画	施策コード	主 7-1-2	再			
	分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している				
	施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり				
	事業群	創業しやすい都市づくり				
	施策成果指標	相談対応件数(1,400件)				

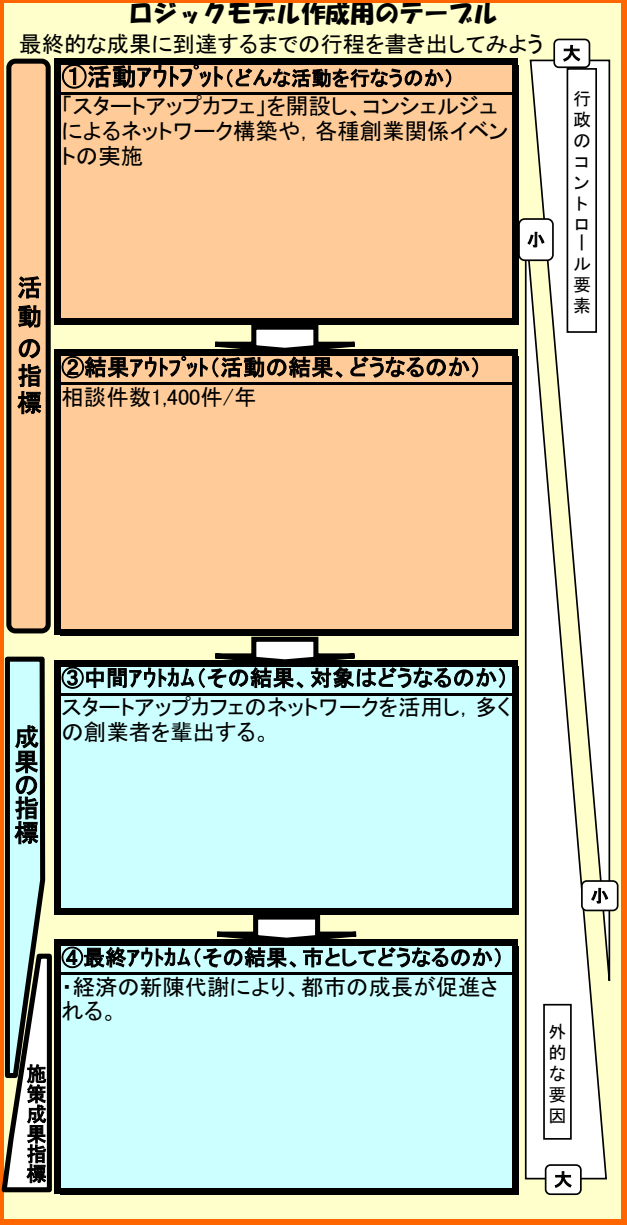
【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか	対象をどのような状態にしたいのか
創業者予定者、創業して間もない企業、個人	スタートアップの裾野を広げ、都市の成長を促進する。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む	
受託事業者:株式会社TSUTAYA				
事業実施場所:TSUTAYA BOOK STORE TENJIN				
福岡市中央区今泉1丁目20番17号				
開設日:平成26年10月11日				
実績(平成27年2月末現在)				
相談対応件数:1,487件				
創業関連イベント開催数:539回				
イベント参加者数:述べ約7,000名				
スタートアップクラブ会員数:951名				
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	40,482	68,049	68,182
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	40,482	68,049	68,182

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	相談対応件数	目標	1,400	1400	年度
		実績	1,638		-
		達成率	117.0%		
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(K P I) 成果の指標	開業率	目標	-	-	30年度
		実績	7.01%		13%
		達成率	-		
		目標			年度
		実績			
		達成率			



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		福岡市創業者応援団事業		所管課名	経済観光文化局	新産業・立地推進部	創業・大学連携課					
事業開始年度		平成15年度		基本 本 計 画	施策コード	主 7-1-2	再					
根拠法令		なし			分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している						
行政計画上の位置づけ		なし			施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり						
					事業群	創業しやすい都市づくり						
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に			施策 成果 指標	新設事業所数850(中間目標値 820事業所／年、目標値850事業所／年)							
	創業期は、実績、信用力、人的ネットワークなどが乏しいため、直面する販路開拓や資金の確保などの課題に対し、アドバイスをしてくれる人材や、販路、業務提携、資金提供など、パートナー等との出会いの場を提供する目的で開始。											

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか	対象をどのような状態にしたいのか
創業者予定者、創業して間もない企業、個人	企業、事業者の持続的な発展

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☒ 委託含む	☒ 補助金含む	☐ 負担金含む
補助金	福岡市ステップアップ助成事業		
	最優秀賞1社×1,000千円＝1,000千円		
	優秀賞1社×700千円＝700千円		
	奨励賞3社×100千円＝300千円		
その他	創業者フェア		
	約50名参加		

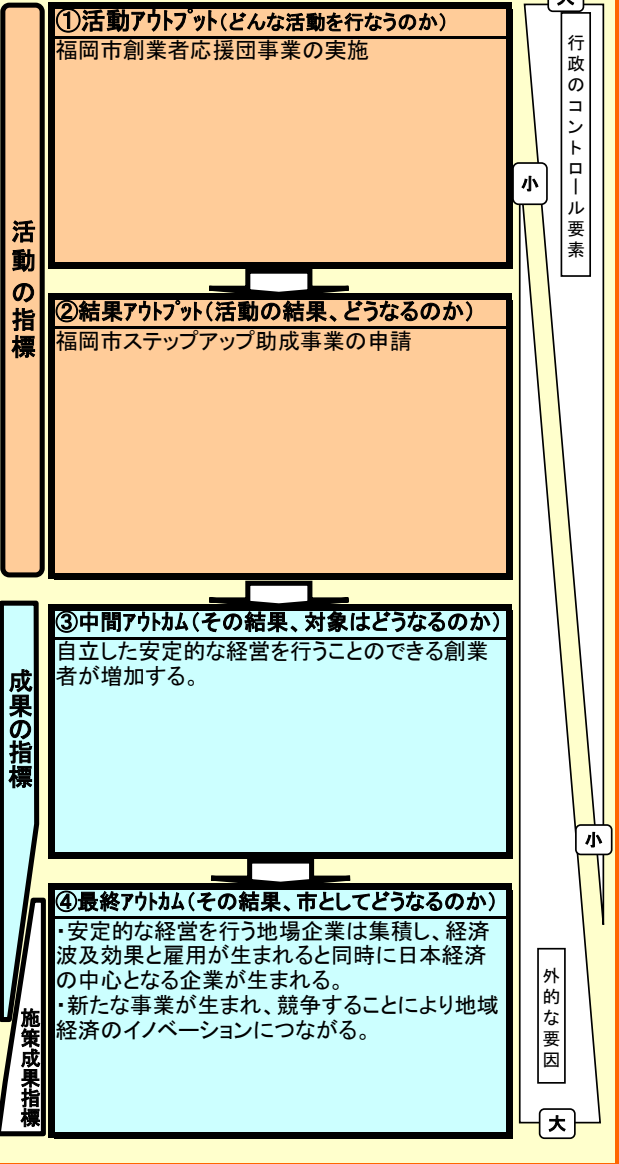
事業費 (千円)	年度		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計		5,150	3,632	4,082
	歳入	特定財源	3	-	-
		一般財源	5,147	3,632	4,082

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	ステップアップ助成事業応募件数	目標	35	35	年度
		実績	31	37	35
		達成率	88.6%	105.7%	
		目標			年度
(成果の指標)	新設事業所数	目標	820	-	34年度
		実績	1,892	-	850
		達成率	230.7%	-	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	大学のまちづくり
事業開始年度	平成21年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 大学は都市の活力や魅力の向上に不可欠な重要な都市インフラであり、人口当たりの学生数は政令市中第2位の集積があり、これらを活用して「大学のまち福岡」を形成していこうというもの。 ※「大学のまちづくり」事業としての大学ネットワークふくおか主体での実施は平成21年度からであるが、同内容の事業は昭和63年頃より実施。

所管課名		経済観光文化局 創業・立地推進部		創業・大学連携課	
基本計画	施策コード	主 7-6-1	再		
	分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している			
	施策	大学や専門学校などの高等教育機関の機能強化			
	事業群	教育・研究機能の充実強化			
施策成果指標	全国の学生数に占める福岡市の割合(現状維持2.9%)				

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 高校生、大学生 大学	対象をどのような状態にしたいのか 受験生を増やし、優秀な学生を増やす(①) 地域の産業や社会を支える人材の増加(②) 大学との連携による産業の活性化(③)

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
○大学ネットワークふくおかの運営 【情報発信事業】福岡都市圏大学及び福岡での学生生活の魅力を発信するため、ホームページの運営を行うとともに、九州地区の10代対象にWEB広告を展開し、ホームページへの誘導を図るとともに、福岡で活躍する大学生グループの活動内容の広報を行った。 【大学共同事業】学生の活動を支援し、地域を担う優秀な人材を育成する「ビジネスチャレンジ事業」「学生地域活動大賞」、企画立案を行う人材育成の目的を持った「学生就業体験(ワークプレースメント)」、地場企業の魅力を学生に伝えるための企業見学会など「就活支援事業」を実施した。			

事業費(千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
歳出合計		8,748	10,328	7,171
歳入	特定財源	1	1	1
	一般財源	8,747	10,327	7,170

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	ホームページ年間アクセス数	目標	77,000	80,000	年度
		実績	84,262	98,942	90,000
		達成率	109.4%	123.7%	-
		目標			年度
(成果の指標)	全国の学生数に占める福岡市の割合	目標	現状維持	現状維持	年度
		実績	2.94	2.94	現状維持
		達成率	100.0%	100.0%	-
		目標			年度

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	全国版の情報誌に広告掲載(①) ビジネスチャレンジ事業の実施(②) 学生に地場企業の情報を伝える(③)
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	大学及び福岡市の魅力が全国の高校生に伝わる。(①) 学生が企画立案、ビジネス提案などを行い、実践する。(②) 学生が地場企業について興味を持つ。(③)
	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	福岡の学生数が増加する。(①) 社会で活躍できる能力を持った学生が増える。(②) 地元就職する学生が増える。(③)
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	豊富な学生と彼らの活発な活動、また人材育成の成果により、社会的、経済的に福岡市が活性化。

行政のコントロール要素

大

小

小

外的な要因

大

成果の指標

施策成果指標

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	スタートアップ都市推進協議会関連事業
事業開始年度	平成26年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に (株)グロービス主催のG1首長ネットワークにおいて、創業や新たな事業などのスタートアップを応援し日本全体の成長を牽引する地域初のイノベーションを進めるため、共同で事業に取り組む自治体を福岡市長から呼びかけたところ3県5市(三重県、広島県、佐賀県、千葉市、横須賀市、浜松市、奈良市、福岡市)が賛同し、平成25年12月23日に「スタートアップ都市推進協議会」が設立された。

所管課名	経済観光文化局	創業・立地推進部	創業・大学連携課
基本	施策コード	主 7-1-2	再
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	創業しやすい都市づくり		
施策成果指標	新設事業所数(中間目標値 820事業所/年、目標値 850事業所/年)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 各地のベンチャー企業	対象をどのような状態にしたいのか 大手企業、海外の若手経営者、投資家などとマッチングできている。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む	
(1)マッチング交流会「ジャパン・スタートアップ・セレクション2015」 平成27年11月12日(木) 参加者:東京の新規事業担当者、7自治体スタートアップ企業、創業支援関係者等200名程度				
(2)シンポジウム「MIE地方創生ベンチャーサミット2016」 平成28年2月20日(土) 参加者:東京のスタートアップ関係者、東京の新規事業担当者、8自治体スタートアップ企業、創業支援関係者等400名程度				
(3)U/Iターンの推進 地方での活動を検討している首都圏の起業家に、U/Iターンとしての地方展開を薦める。				

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	8,480	2,100	1,682
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	8,480	2,100	1,682

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	ベンチャーマッチングの開催回数	目標	2	1	年度
		実績	1	1	-
		達成率	50.0%	100.0%	-
	シンポジウムの開催回数	目標	-	1	年度
		実績	-	1	-
		達成率	-	100.0%	-
(成果の指標)	イベント参加ベンチャーの個別商談・継続情報交換件数	目標	-	40	年度
		実績	-	43	-
		達成率	-	107.5%	-
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素	大
	・ベンチャーマッチングの実施		小
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)		小
	・各地のベンチャー企業が大手企業、海外の若手経営者、投資家などと交流できる。		大
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	外的な要因	小
	・各地のベンチャー企業のビジネスチャンスが増加する。		大
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)		大
	・スタートアップが推進される。 ・チャレンジが評価される文化が醸成され、多くの人がビジネスにチャレンジする。		大

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		ITコミュニティ活性化事業		所管課名	経済観光文化局	創業・立地推進部	新産業振興課				
事業開始年度		平成25年度		基本 本計 画	施策コード	主 8-2-3	再 6-1-2				
根拠法令		なし			分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている					
行政計画上の位置づけ		なし			施策	高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり					
					事業群	シーサイドももち（SRP地区）の拠点性の維持向上					
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に			施策 成果 指標	アイランドシティ・九州大学学術研究都市・シーサイドももち（SRP地区）の従業者数（21,200人：平成28年度）						
	情報関連産業の拠点として整備を図ってきたSRP地区であるが、事業所数、従業者数が減少するなど、現在は厳しい状況が続いており、拠点性を高める必要がある。				※シーサイドももち地区では7000人						

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか エンジニア、学生、一般等	対象をどのような状態にしたいのか 人材育成事業及び交流機能を強化することで、ITを結節点として多様なプレーヤーが集まる拠点となる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法 ☒ 委託含む ☐ 補助金含む ☐ 負担金含む

IT関連の技術講座やハッカソンなどの実施を通じ、交流機能を強化し、ITを結節点として多様なプレーヤーが集まる拠点とするほか、「創業特区」として特にハードウェア・スタートアップが生まれる土壌となる事業へと展開する。

- ①ハードウェア・ソフトウェアの技術講座(第一期:H27.8~H27.10 第二期:H28.1~H28.2)
②セミナー(H28.2実施)
③ハッカソン(H28.3実施)

主に小中学生やその親を対象としたデジタルファブリケーションを活用したモノづくりワークショップ・セミナー等の開催

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	8,000	11,322	4,947
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	8,000	11,322	4,947

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	講座等の定員に占める参加者の割合	目標	90	90	- 年度
		実績	100	108	
		達成率	111.1%	120.0%	
	講座等への参加者数	目標	-	-	200 年度
		実績	-	-	
		達成率	-	-	
(成果の指標)	SRP地区の事業所数	目標	107	110	113 年度
		実績	93	103	
		達成率	86.9%	93.6%	
	SRP地区の従業者数	目標	5,760	5,940	6120 年度
		実績	5,559	5,506	
		達成率	96.5%	92.7%	

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素
	①エンジニアのスキル向上のため、ハードウェア・ソフトウェアの技術講座を実施する。 ②IoTに関するセミナーを実施する。 ③IoTや新産業創出等をテーマとするハッカソンを実施する。	
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	
	技術講座及びセミナーに参加することにより、ハードウェア・ソフトウェアエンジニアのスキルが向上する。 また、ハッカソンへの参加により、エンジニア、デザイナー、学生等のコミュニティ形成に寄与する。	
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	外的な要因
	SRP地区に多様なコミュニティ、実証プロジェクトが集まり、さらに技術者の交流の場が創られることでSRP地区の拠点性が高まる。	
施策成果指標	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	外的な要因
	SRP地区に情報関連産業の企業が集積し、雇用、税収が増加する。	

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	企業立地促進制度の実施
事業開始年度	平成14年度
根拠法令	福岡市企業立地促進条例及び同条例施行規則
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 立地交付金等の企業立地を促進するための施策を実施することにより、本市への産業を集積し、雇用機会の創出、事業機会の増大及び税源の涵養を図ることにより、本市経済活動の活力の維持及び豊かな市民生活の実現を目指して本制度を開始した。

所管課名		経済観光文化局		創業・立地推進部		企業誘致課	
基本 計画	施策コード	主 6-2-1	再				
	分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている					
	施策	成長分野の企業や本社機能の立地の促進					
	事業群	企業や本社機能の立地促進					
	施策成果指標	○成長分野・本社機能の進出企業数(H28:55社/年) ○進出した企業による雇用者数(H28:3,000人/年)					

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 国内外の企業等	対象をどのような状態にしたいのか 本市への支社や本社等の拠点設置を推進し、定着させる。

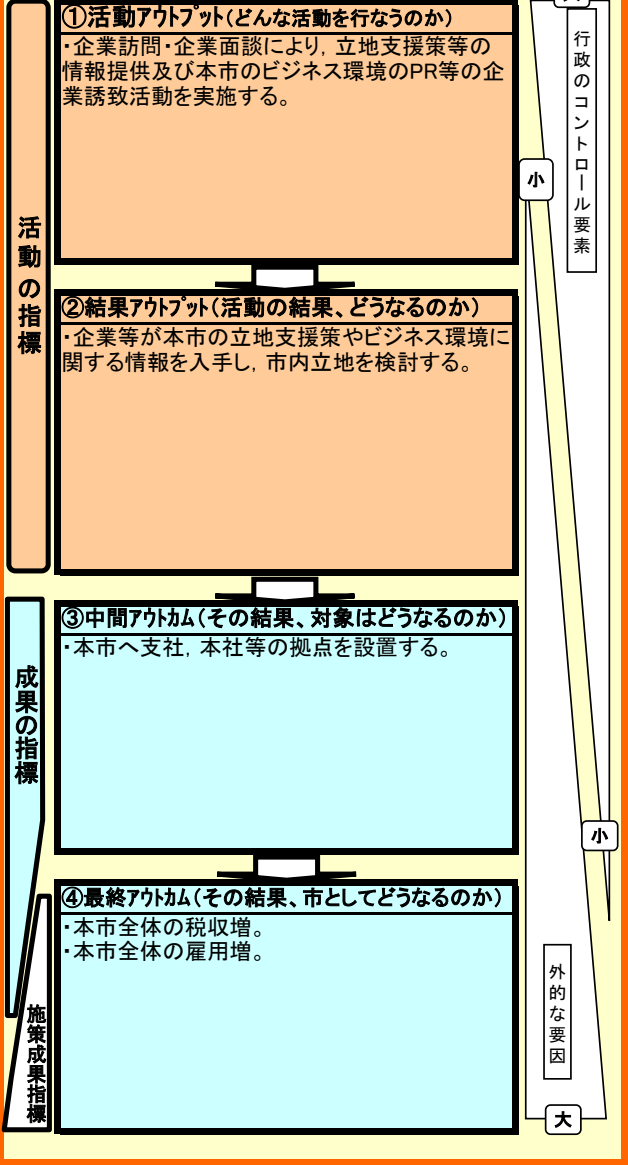
27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む	
本市に新たに立地する企業に対し、立地交付金を適用することにより、企業の初期投資を軽減し、国内外企業の立地促進、市内既存事業所の転出防止を図った。				
○交付件数:23件				
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	764,056	2,488,055	8,198,141
	歳入			
	特定財源	238,783	1,591,247	6,872,436
	一般財源	525,273	900,920	1,325,705

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	企業訪問・面談回数	目標	500	500	35年度
		実績	800	700	500回/年
		達成率	160.0%	140.0%	500回/年
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(K P I) 成果の指標	成長分野・本社機能の進出企業数	目標	50	55	35年度
		実績	52	62	55社/年
		達成率	104.0%	112.7%	55社/年
	進出した企業による雇用者数	目標	3,000	3,000	35年度
		実績	1,290	2,200	3,000人/年
		達成率	43.0%	73.3%	3,000人/年

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		所管課名	経済観光文化局	創業・立地推進部	企業誘致課
事業開始年度	平成16年度	基本	施策コード	主 6-2-1	再
根拠法令	なし	分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
行政計画上の位置づけ	なし	施策	成長分野の企業や本社機能の立地の促進		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 経済のグローバル化の進展に対応し、また、地理的・歴史的にアジアとの密接な関係を持つ本市の特性を活かした、開かれた地域経済の形成を目指した。	事業群	企業や本社機能の立地促進		
		施策成果指標	○成長分野・本社機能の進出企業数(H28nd:55社/年 内外国企業等17社) ○進出した企業による雇用者数(H28nd:3,000人/年 ※国内企業も含めた合計数値)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 外国企業及び外資系企業	対象をどのような状態にしたいのか 本市への本社や支社等の拠点設置を推進し、定着させる

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法 ☒ 委託含む ☐ 補助金含む ☒ 負担金含む

海外におけるトッププロモーションや、国内外でのセミナー・企業訪問等の実施、外国企業・投資誘致センターの運営、海外アドバイザーへの委託、JETROや福岡県海外企業誘致協議会等の関連団体との連携を通じ、外国企業等への情報発信や連絡・情報提供等を行った。

【平成27年度の主な取り組み事例】

- 北米西海岸における投資誘致セミナー(H27.6)
- シンガポールGlobal Markets Conferenceにおけるプレゼン(H27.10)
- 釜山企業進出説明会(H27.10)
- 台湾・福岡投資説明会開催(H27.11, H27.12)
- アトランタビジネスセミナー及び日米南東部会におけるプレゼン(H27.11)
- 北米シアトルにおけるNew Tech Seattleへのブース出展(H28.3)

○外国企業等との連絡・情報提供回数 1,772回

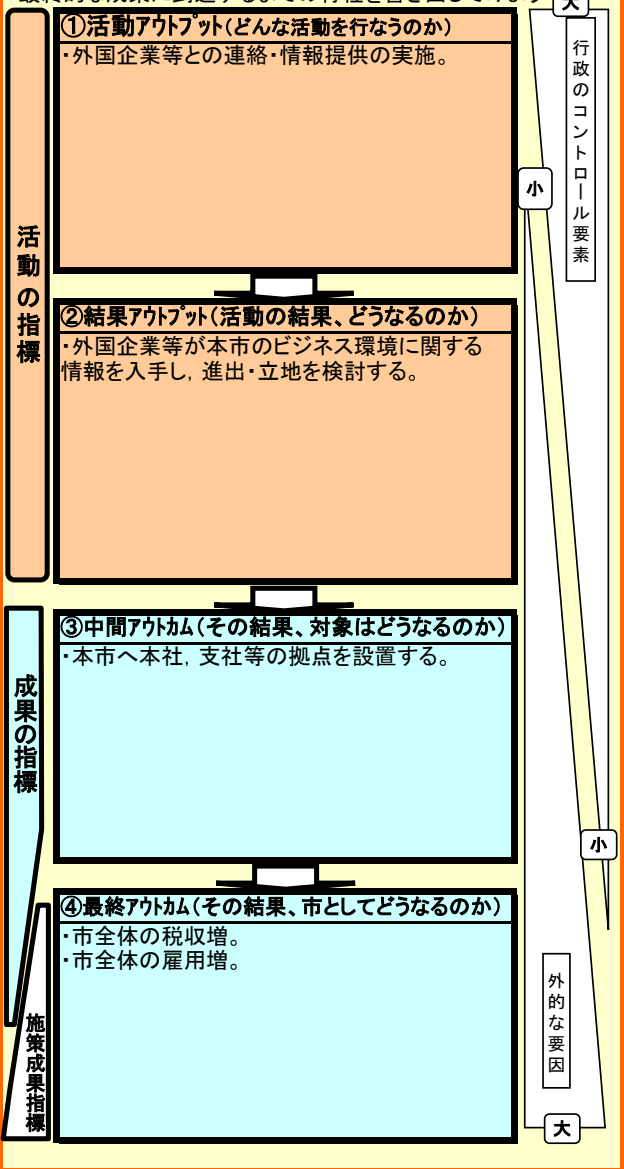
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	25,348	21,055	22,307
	歳入			
	特定財源	958	3,034	1,034
	一般財源	24,390	18,021	21,273

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	外国企業等との連絡・情報提供回数	目標	500	500	35年度
		実績	1,140	1,772	500回/年
		達成率	228.0%	354.4%	500回/年
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(K P I) 成果の指標	成長分野・本社機能の進出企業数(内外国企業等)	目標	15	17	35年度
		実績	12	9	17社/年
		達成率	80.0%	52.9%	17社/年
	進出した企業による雇用者数(国内企業含む)	目標	3,000	3,000	35年度
		実績	1,290	2,213	3000人/年
		達成率	43.0%	73.8%	3000人/年

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		所管課名	経済観光文化局	国際経済・コンテンツ部	国際経済課
事業開始年度	H21	基本	施策コード	主 8-3-1	再
根拠法令	なし	分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
行政計画上の位置づけ	なし	施策	国際的なビジネス交流の促進		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 大企業と異なり、国際ビジネスについて独自の展開や情報の取得が 困難な地場中小企業の海外展開を支援するため	事業群	国際ビジネスの振興		
		施策成果指標	博多港・福岡空港における貿易額(H28:3兆6,000億円)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 地場企業	対象をどのような状態にしたいのか ・成長著しいアジアへの販路拡大や外国企業の連携強化。 ・福岡フードビジネス協議会を通じて、福岡・九州の地場食品製造企業がまとまって輸出拡大を進め、福岡・九州の食の海外でのブランド化を図る。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
○福岡アジアビジネス支援委員会(福岡市、商工会議所、ジェトロ福岡、福岡貿易会)の活動を通して、下記事業を実施(共催事業含む)			
セミナー開催:11回			
物産展参加支援:1回			
展示会参加支援:1回			
商談会開催:7回(運営・広報支援含)			
○福岡フードビジネス協議会			
下記事業を実施			
定例会開催:8回(総会1回除く)			
インバウンドスタディツアー実施:1回			
共同出展:3回(Food EXPO Kyushu2015, ANUGA, FOODEX)			

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	2,010	7,402	7,445
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	2,010	7,402	7,445

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	セミナー参加人数	目標	200	250	年度
		実績	406	705	300
		達成率	203.0%	282.0%	
	商談件数	目標	500	500	年度
		実績	532	718	650
		達成率	106.4%	143.6%	
(成果の指標)	博多港・福岡空港における貿易額【億円】	目標	36,000	36,000	年度
		実績	40,491	42,111	36,000
		達成率	112.5%	117.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標

成果の指標

施策成果指標

①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)

②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)

③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)

④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)

行政のコントロール要素

外的な要因

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		アジア経済交流センター等事業		所管課名	経済観光文化局	国際経済・コンテンツ部	国際経済課						
事業開始年度		H9		基本 計 画	施策コード	主	8-3-1	再					
根拠法令		なし			分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている							
行政計画上の位置づけ		なし			施策	国際的なビジネス交流の促進							
					事業群	国際ビジネスの振興							
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に アジアビジネスが注目を集める一方で、独自の海外展開が困難な地場企業に対する支援のニーズが高まっていた。			施策 成果 指標	博多港・福岡空港における貿易額(H28:3兆6,000億円)								

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 地場企業	対象をどのような状態にしたいのか ○地場企業の製品・サービスの販路拡大 ○地場企業の人材育成

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☒ 補助金含む	☐ 負担金含む
○ライブラリーにおける情報サービス 九州や海外の地域概要、貿易に必要な資料、経済情報、企業及び商品に関する情報の提供			
○アドバイザーによるコンサルティングサービス 現在貿易実務に携わっている専門アドバイザーによる海外でのビジネスや製品の輸出入に関するコンサルティング			
○人材育成事業としての研修会等の開催 時宜に即した各種テーマによるセミナー・研修会を開催			

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	34,925	31,509	35,753
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	34,925	31,509	35,753

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	貿易相談者数	目標	125	130	年度
		実績	132	120	
		達成率	105.6%	92.3%	
	研修会・セミナー受講者数	目標	2,700	2,800	年度
		実績	2,233	2,936	
		達成率	82.7%	104.9%	
(成果の指標)	博多港・福岡空港における貿易額【億円】	目標	36,000	36,000	年度
		実績	40,491	42,111	
		達成率	112.5%	117.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素
	・ライブラリーにおける情報提供 ・専門アドバイザーによるコンサルティングサービス(貿易相談) ・セミナー・研修会の開催	小
成果の指標	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	
	・地場企業が情報を得る ・地場企業が状況に応じた適切な助言を得る ・地場企業の社員が国際ビジネスに必要なスキルを身につける	
施策成果指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	
	・地場企業の製品・サービスの販路が拡大する	小
施策成果指標	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	外的な要因
	・博多港・福岡空港における貿易額が増大する ・地場企業の利益が拡大する ・福岡市における経済活動が活発になる	大

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		所管課名	経済観光文化局	国際経済・コンテンツ部	国際経済課
事業開始年度	H17	基本	施策コード	主 8-3-1	再
根拠法令	なし	分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
行政計画上の位置づけ	なし	施策	国際的なビジネス交流の促進		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に ○中国ビジネスが注目を集める一方で、独自の海外展開が困難な地場企業に対する支援のニーズが高まっていた。 ○上海には中国国内はもちろん、世界各国の企業がアジア統括拠点を開設しており、アジアビジネスの拠点として、重要性が相対的に高まっていた。	事業群	国際ビジネスの振興		
		施策成果指標	博多港・福岡空港における貿易額(H28:3兆6,000億円)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか ○地場企業 ○海外企業(上海に拠点を置く世界各国の企業、中国企業等)	対象をどのような状態にしたいのか ○地場企業の製品・サービスの販路拡大 ○地場企業の海外企業との取引拡大 ○海外企業の福岡市への投資拡大 ○海外企業の地場企業との取引拡大

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
○地場企業の海外ビジネス支援 現地企業の紹介、市場調査や事務所設立の支援、展示会出展支援 ○企業誘致 政府機関・業界団体・企業の訪問、展示会や交流会への参加 ○シティプロモーション クルーズ誘致、観光客誘致、中国各地でのプロモーション ○現地ネットワークの構築 ○その他団体支援 経済団体等各種団体の来訪、現地視察等の同行			

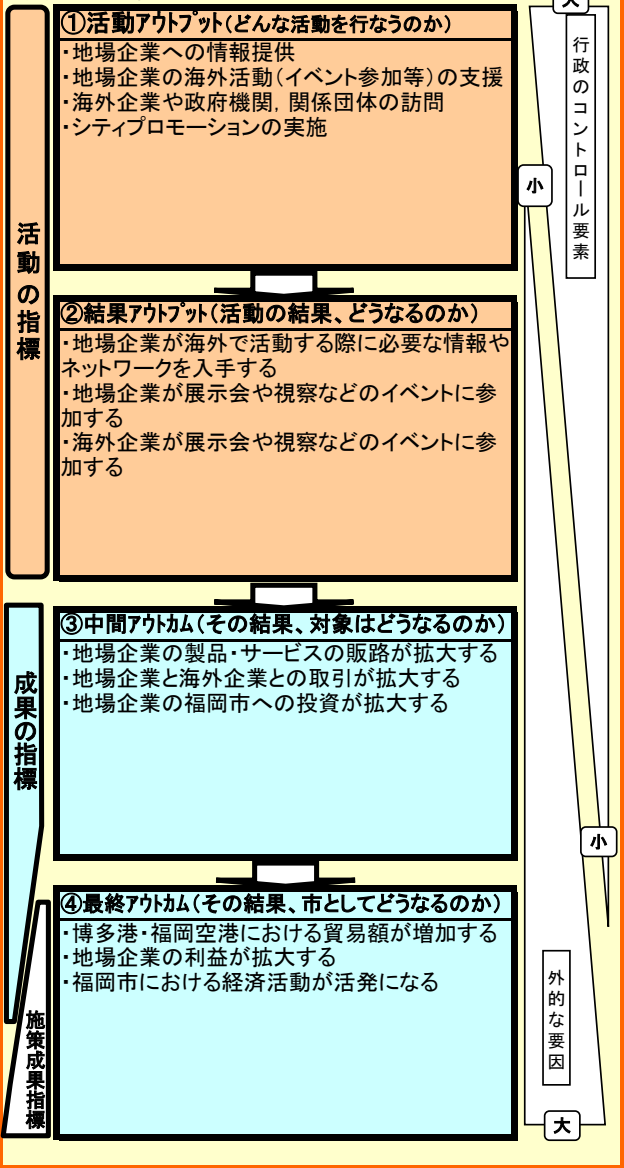
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	20,034	19,491	23,749
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	20,034	19,491	23,749

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績			目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度	
活動の指標	上海事務所来訪・訪問人数等	目標	1,000	1,050	1,050	年度
		実績	1,087	1,133		
		達成率	108.7%	107.9%		
		目標				年度
		実績				
		達成率				
(成果の指標)	博多港・福岡空港における中国・香港との貿易額【億円】	目標	13,340	14,800	16,260	年度
		実績	14,371	14,225		
		達成率	107.7%	96.1%		
		目標				年度
		実績				
		達成率				

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		福岡・釜山経済交流事業		所管課名	経済観光文化局	国際経済・コンテンツ部	国際経済課						
事業開始年度		平成21年度		基本 計 画	施策コード	主	8-7-1	再					
根拠法令		なし			分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている							
行政計画上の位置づけ					施策	釜山広域市との超広域経済圏の形成							
					事業群	連携・交流の促進							
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に			施策 成 果 指 標	福岡・釜山間の定期航路の船舶乗降人員 H28:80 万人								
	・平成21年3月8日(福岡市)釜山広域市 許南植(ホ・ナムシク)市長から、福岡・釜山両市が共に発展するため「超広域経済圏形成」を提案された												

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 福岡市と韓国・釜山広域市の企業・機関・市民	対象をどのような状態にしたいのか 国際競争力の向上や地域活性化を図り、国境を越えた地域連携のモデルとして、北東アジアの新たな発展軸を形成することをめざす。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
国際競争力の向上や地域活性化を図り、国境を越えた地域連携のモデルとして、北東アジアの新たな発展軸を形成することを目指し、釜山広域市との「超広域経済圏」形成に向けた各種協力事業を実施			

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	7,711	6,009	6,989
	歳入			
	特定財源	469	487	519
	一般財源	7,242	5,522	6,470

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	超広域経済圏広報用HPアクセス件数(ページビュー)	目標	240,000	300,000	360,000
		実績	298,236	418,509	
		達成率	124.3%	139.5%	
	経済協力事務所相談件数	目標	82	90	90
		実績	79	81	
		達成率	96.3%	90.0%	
(成果の指標) (KPI)	博多港・福岡空港における韓国との貿易額(億円)	目標	5,200	5,335	5,475
		実績	5,322	5,712	
		達成率	102.3%	107.1%	
		目標			
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素
	・未来志向のビジネス協力促進を促す ・人材(グローバル人材)の育成・活用を行う ・日常交流圏の形成を行う ・超広域経済圏広報用HPへのアクセス数向上のためのPRを行う。	
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	
	・国境を越えた都市連携を図る	
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	外的な要因
	・福岡・釜山が一つの経済圏となる ・博多港・福岡空港における貿易額が増加する	
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	
	・両地域の国際競争力が向上し、地域の活性化が図られる	

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		所管課名	経済観光文化局	国際経済・コンテンツ部	コンテンツ振興課
事業開始年度	平成25年度	基本	施策コード	主 7-3-1	再
根拠法令	なし	分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
行政計画上の位置づけ		施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興		
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 本市には、都市規模を上回るクリエイティブ関連産業の集積があり、今後も本市の成長エンジンとして地域経済を牽引していくことが期待される中、これらの関連産業について、ゲーム、ファッション、デザイン、音楽等業種に応じた産業振興が必要となるため。	事業群	クリエイティブ関連産業の振興		
		施策成果指標	クリエイティブ関連産業事業所数 中間目標値：2,750事業所(H28年)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 市内クリエイティブ関連企業(ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン)。	対象をどのような状態にしたいのか クリエイティブ関連事業所数 2,900社 新規立地数 150社 新規創業数 200社

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法 ☒ 委託含む ☐ 補助金含む ☒ 負担金含む

○ゲーム

ゲーム産業分野では、産学官による福岡ゲーム産業振興機構を通じ、ゲーム業界の人材育成・確保に取り組んだ。

○ファッション

ファッション産業分野では、地場ファッション産業の活性化に向けた取り組みを商工会議所、福岡県等と一体になって支援した。

○音楽

昨年度に引き続き、福岡ミュージックマンスに参画し、音楽都市としてのブランディングを図るとともに、一層の集客や関連産業の振興を図った。

○デザイン

デザイン産業分野では、NPO法人福岡デザインリーグや九州アートディレクターズクラブなどのデザイン関連団体などと連携してデザイン関連産業の振興を図った。

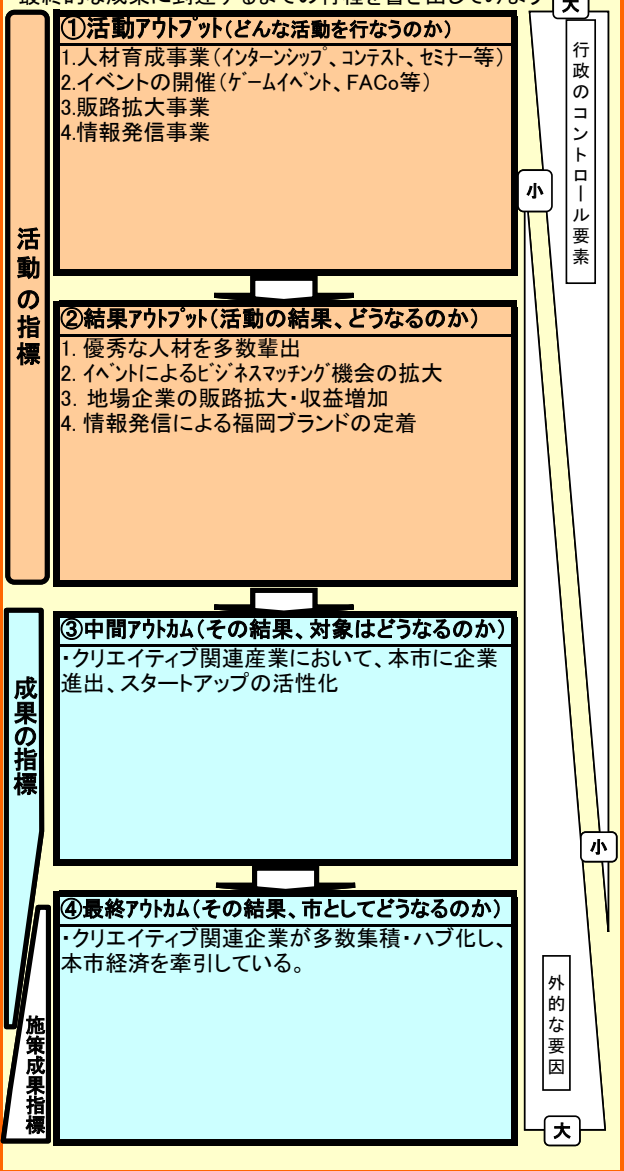
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	33,738	29,099	34,293
	歳入			
	特定財源	144	70	1,020
	一般財源	33,594	29,029	33,273

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	インターンシップ事業(回)	目標	3	3	3
		実績	3	3	
		達成率	100.0%	100.0%	
	広報的イベントの開催(回)	目標	2	2	2
		実績	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
(成果の指標)	インターンシップの受入人数(人)	目標	-	21	21
		実績	-	40	
		達成率	-	190.5%	
		目標			
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業	基本計画 施策コード 分野別目標 施策 事業群	所管課名	経済観光文化局	国際経済・コンテンツ部	コンテンツ振興課	
事業開始年度		平成24年度		主	7-3-2	再		
根拠法令		なし		創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している				
行政計画上の位置づけ				個人の才能が成長を生む創造産業の振興				
				エンターテインメント都市づくり				
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 市内のクリエイティブ関連企業からは、分野を超えた交流の場やイベント等を通じた情報発信、スタートアップ支援のニーズが高い。クリエイティブ・エンターテインメント分野は、福岡市の強みを活かせる分野であり、時代を担う産業分野として積極的に振興を図る。			クリエイティブ関連産業事業所数 中間目標値: 2,750事業所 (H28年)				

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 市内クリエイティブ関連企業(ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザイン)及び個人のクリエイター	対象をどのような状態にしたいのか クリエイティブ関連企業所数 2,900社 新規立地数 150社 新規創業数 200社

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法 ☒ 委託含む ☐ 補助金含む ☒ 負担金含む

1.クリエイティブ福岡推進協議会の運営
2.クリエイティブフェスタの開催(10月)
今年度よりアジア太平洋フェスティバルとThe Creatorsを統合し、「アジア」「クリエイティブ」「今」をテーマにした「Fukuoka Asian Party」を開催。102,400人を動員した。

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	51,963	102,927	77,347
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	51,963	102,927	77,347

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	クリエイティブフェスタの開催(回)	目標	1	1	32年度
		実績	1	1	1
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標			年度
(成果の指標)	クリエイティブフェスタの来場者数(人)	目標	-	45,000	年度
		実績	-	102,400	45,000
		達成率	-	227.6%	
		目標			年度

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

大

行政のコントロール要素

小

活動の指標

小

成果の指標

大

外的な要因

①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)

1.クリエイティブ福岡推進協議会(クリエイティブ・ラボ・フクオカ)事業の実施
2.クリエイティブフェスタの開催
3.スタートアップ・サポーターズ事業の実施

②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)

1. 優秀な人材を多数輩出
2. イベントによるビジネスマッチング機会の拡大
3. 地場企業の販路拡大・収益増加
4. 情報発信による福岡ブランドの定着

③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)

・クリエイティブ関連産業において、本市に企業進出・スタートアップの活性化

④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)

・クリエイティブ関連企業が多数集積・ハブ化し、本市経済を牽引している。

施策成果指標

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		アジアフォーカス・福岡国際映画祭		所管課名	経済観光文化局	国際経済・コンテンツ部	コンテンツ振興課					
事業開始年度		平成3年度		基本 本 計 画	施策コード	主 7-3-2	再					
根拠法令		なし			分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している						
行政計画上の位置づけ		なし			施策	個人の才能が成長を生む創造産業の振興						
					事業群	エンターテインメント都市づくり						
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 平成元年のよかとびあ開催、福岡アジア文化賞創設などの"アジア太平洋都市宣言"の旗印のもと行われた一連のアジア施策の一環として、映画を通じて行う文化交流として映画祭が始まった。			施策 成果 指標	クリエイティブ関連産業事業所数 中間目標値：2,750事業所(H28年)							

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか ①市民、観客 ②映像産業関連企業、クリエイター ③アジアの映画関係者	対象をどのような状態にしたいのか ①大勢の観客でにぎわう。アジア映画を楽しむ。アジアの文化に親しむ。福岡市に映画祭があることを誇りに思う。 ②企業や人材が集積する。 ③福岡国際映画祭出品を目標とする。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法 ☐ 委託含む ☐ 補助金含む ☒ 負担金含む

キャナルシティ博多を会場として開催。国際交流基金アジアセンターと共催し、映画上映や市民参加イベントを通じた文化交流事業としての映画祭の充実と盛り上げ、集客を図った。

22か国・地域の229作品を上映するとともに、14か国・地域から監督など81人を招へい。前年を大きく上回る39,046人が来場した。

オープニングセレモニーや福岡観客賞、バリアフリー上映会など自主イベントのほか、国際交流基金アジアセンターとの共催によるインドネシア大特集、その他にも協賛企画として台湾映画祭、福岡インディペンデント映画祭、福岡アジアフィルムフェスティバル、中学生招待など多くの映画・映像のイベントを実施。

地元クリエイター育成のためのワンミニット・フィルムコンペティションや福岡のアニメーション作品を紹介するイベントなども開催するとともに、クリエイティブ産業の振興を目的とした商談会を開催した。

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	69,632	68,504	53,324
	歳入			
	特定財源	825	474	514
	一般財源	68,807	68,030	52,810

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	上映数	目標	90	80	年度
		実績	73	102	90
		達成率	81.1%	127.5%	
	イベント数	目標	12	12	年度
		実績	12	17	12
		達成率	100.0%	141.7%	
(成果の指標)	観客数(人)	目標	34,000	31,000	年度
		実績	30,824	39,046	31,000
		達成率	90.7%	126.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素
	・映画祭を企画・運営する(作品、ゲスト、シンポジウム、イベント等) ・ポスター、リーフレットの製作やHP、facebookなどでの情報発信、記者発表開催や時期を得たプレスリリース等により映画祭の周知を図る	
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	
	・作品とゲストを招待する(H24:37作品、55人) ・上映を実施する(H24:88回) ・イベントを実施する(H24:10企画) ・プレスリリースを発信する(H24:19回)	
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	外的な要因
	・観客数が増える(映画祭に親しみを感じる、誇りに思う市民が増える) ・新聞や雑誌、テレビなどでのニュースパブリシティが増える(広告費換算額で測る) ・アジア中の才能が福岡を目指す	
施策成果指標	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	外的な要因
	・「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」というブランドが確立している ・クリエイティブ関連産業の事業所数が増加している	

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	まち歩き観光振興事業(観光案内ボランティアの充実強化)
事業開始年度	平成3年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 市民や来訪者に対し、本市を正しく理解、認識してもらうため、福岡市が募集・研修養成を実施。平成7年のユニバーシアード福岡大会開催に向けての市民ホスピタリティの向上を見据えて設立した。

所管課名	経済観光文化局	観光コンベンション部	観光産業課
基本	施策コード	主 5-3-1	再
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり		
事業群	おもてなしの向上		
施策成果指標	○観光案内ボランティアの案内人数目標(H34:15,000人)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 福岡市民・福岡市を訪れる観光客	対象をどのような状態にしたいのか 福岡市を訪れる多くの訪問客に、ガイドの巧みな話術とおもてなしで、快適にまちをめぐり、魅力に触れて満足していただくことで、福岡市のファンを増やす。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
・派遣依頼にともなう観光案内活動 ・市役所ロビーに2名、町家ふるさと館に1名が毎日(12/28～1/3を除く)常駐し、無料の定時ツアーや周辺の観光案内を実施。 ・福岡城むかし探訪館にて週4日(月水金日)常駐し、周辺の観光案内を実施 ・企画募集型のまち歩きツアーを定期的に実施。新コースの開発。 ・博多情緒めぐり期間中のまち歩きの実施。			

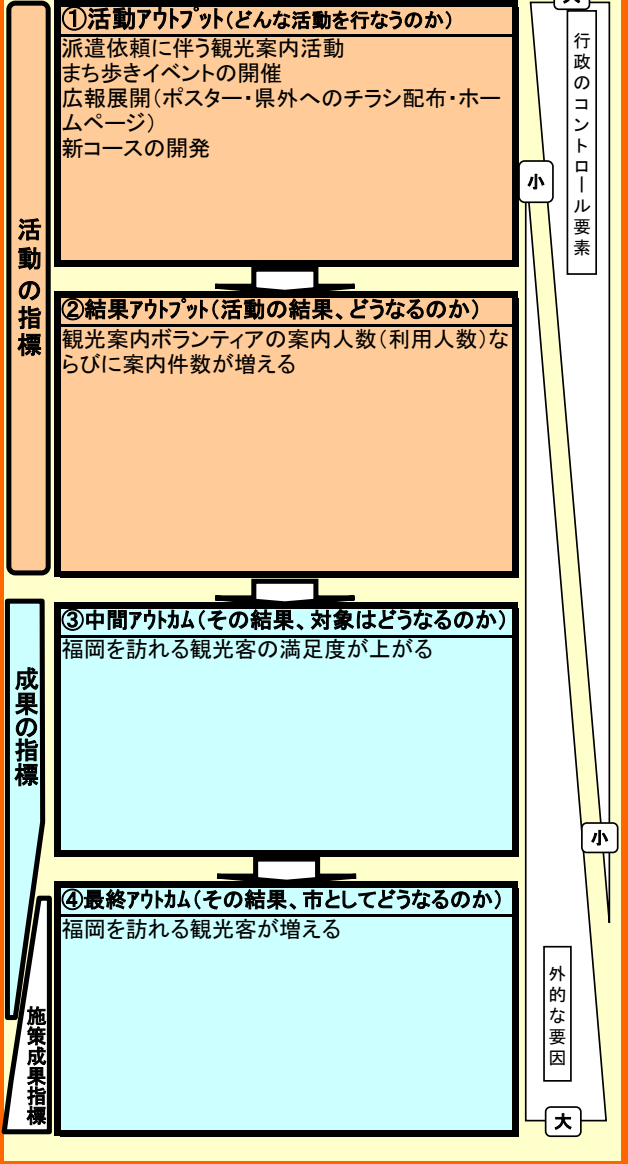
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	9,786	7,650	6,656
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	9,786	7,650	6,656

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績			目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度	
活動の指標	観光案内ボランティアの案内人数	目標	9,190	10,100	11000	34年度
		実績	10,778	9,048		15000
		達成率	117.3%	89.6%		
		目標				年度
		実績				
		達成率				
(成果の指標) KPI	入込観光客数	目標	-	-	-	34年度
		実績	18,550,000	未公表		20,000,000
		達成率	-	-		
		目標				年度
		実績				
		達成率				

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	おもてなし推進事業(重点)×観光客にやさしいまちづくり事業>
事業開始年度	平成25年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 日本ー外国人にフレンドリーなまちづくりを進める一環として、外国人旅行者が安心して快適に、観光することができる環境をつくるため。

所管課名	経済観光文化局	観光コンベンション部	観光産業課
基本	施策コード	主 5-3-1	再
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり		
事業群	おもてなしの向上		
施策成果指標	○外国人入国者数(H34: 250万人)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか	対象をどのような状態にしたいのか
外国人旅行者と接する機会の多い観光従事者等	外国人旅行者に対し、語学や文化などの面でストレスなくサービスを提供できている状態

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む	
平成27年7月に締結した、ぐるなびとの包括連携協定により、飲食店を対象とした「インバウンド対策セミナー」を開催及び外国語メニュー等を備えたインバウンド対応可能飲食店マップの制作。				
【インバウンド対策セミナー】 ○平成27年 8月26日 参加者:173名 内容:訪日外国人が飲食店に求めていること、飲食店におけるインバウンド対策の今 ○平成28年 2月16日 参加者:106名 内容:福岡市のMICEの取り組み、ぐるなびのインバウンドへの取り組み、飲食店の訪日外国人受入れ成功事例の共有				
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	506	3,510	-
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	506	3,510	-

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	研修等受講者数	目標	100	200	年度
		実績	40	279	27
		達成率	40.0%	139.5%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標)	外国人入国者数	目標	-	-	34年度
		実績	1,200,516	2,078,026	2,500,000
		達成率	-	-	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

大

行政のコントロール要素

小

活動の指標

①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)

・セミナー、研修等を実施する。

②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)

・観光従事者の外国人旅行者受入れに関する知識、スキルが向上する。

③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)

・福岡市を訪れた外国人旅行者の満足度が高まる。

④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)

・福岡市への外国人来訪者数が増加する。

小

成果の指標

施策成果指標

外的な要因

大

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		福岡で「もう一泊」推進事業		所官課名		経済観光文化局		観光コンベンション部		観光産業課	
事業開始年度		平成24年度		基本		施策コード		主 5-1-2		再	
根拠法令		なし		分		分野別目標		磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
行政計画上の位置づけ		なし		計		施策		観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ			
				画		事業群		祭り・食・文化・エンターテインメント魅力の磨き上げ			
背景		事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 観光を地域産業に結びつけ地域経済に波及させるためには、回遊・ 長期滞在・追加消費を促す仕掛けづくりが必要であり、福岡が持つ観 光資源について、「もう一泊」してもらえるような魅力アップを図る。		施		策成果指標		○入込観光客数(H34:2,000万人) ※日帰り:1,250万人、宿泊:750万人			

事業概要

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 観光客	対象をどのような状態にしたいのか 福岡の夜の魅力の情報発信により、観光客に実際に訪れてもらい、福岡での夜の回遊や長期滞在(宿泊)を促す。

27年度事業実施内容（手段）目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
------	-------------------------------	--------------------------------	---

- 「福岡よる旅」を活用した夜の観光のブランド化、イメージの確立と全国へ向けた情報発信、話題づくり。
- 「福岡よる旅」コラボ企画
- 「福岡よる博」の開催
- 「福岡よる旅」サポーターの募集
- 「福岡よる旅」ホームページでの情報発信

事業費 (千円)	年度		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計		15,222	3,200	100
	歳入	特定財源	-	-	-
		一般財源	15,222	3,200	100

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績			目 標	
			26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	WEB閲覧数	目標	-	-	26,000	年度
		実績	22,545	26,021		-
		達成率	-	-		-
	「福岡よる博」イベント数	目標	-	-	-	年度
		実績	61	118		27
		達成率	-	-		
(成果の指標)	入込観光客数	目標	-	-	-	34年度
		実績	18,550,000	未公表		20,000,000
		達成率	-	-		
		目標				年度
		実績				
		達成率				

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)

- ・夜の魅力の情報発信。(プロモーション、WEB開設)
- ・福岡の夜が楽しいイメージを広く発信するイベントの開催。

②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)

・観光客が福岡の夜の魅力を知る。

③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)

- ・福岡の夜を楽しんだり、宿泊する観光客が増加する。
- ・観光客の消費額が上がる。

④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)

- ・地域経済が活性化する。

行政のコントロール要素	大
-------------	---

小

小

外的な要因

大

活動の指標

成果の指標

施策成果指標

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		日本で唯一の歴史資源活性化事業		所管課名	経済観光文化局	観光コンベンション部	観光産業課
事業開始年度		平成24年度		基本	施策コード	主 5-1-1	再
根拠法令		なし		分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
行政計画上の位置づけ		なし		計画	施策	観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ	
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 日本で唯一二重の史跡指定を受けている鴻臚館跡・福岡城跡や国宝金印発見の地である志賀島、元寇防塁等の貴重な歴史・文化資源があり、観光・集客施策を進めるにあたり活用可能性が高いため。			事業群	福岡の歴史資源の観光活用		
				施策成果指標	○入込観光客数(H34:2,000万人) ※日帰り:1,250万人、宿泊:750万人		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 福岡市内外	対象をどのような状態にしたいのか 「日本に一つしかない」重要な歴史・文化資源(鴻臚館跡、福岡城跡、元寇防塁、志賀島など)を観光資源として更に磨き上げ、魅力向上に取り組んでいく。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
【鴻臚館、福岡城】 「福岡城むかし探訪館」及び「三の丸スクエア」を運営するとともに、デジタル回遊システム「バーチャル時空散歩」を活用したガイドツアーを実施した。 【元寇防塁】 元寇防塁周辺の地区案内板の設置及び公衆便所改修を行うとともに、福岡マラソンの実施時に、元寇防塁の認知を高めるために、のぼりや横断幕を設置した。 【志賀島】 食事券等と1日バスフリー乗車券がセットとなった旅行商品を造成し、モデル的に実施。また、金印まつりや「新・奴国展」と連携して情報発信を行った。			

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	25,586	58,451	34,186
	歳入			
	特定財源	399	967	966
	一般財源	25,187	57,484	33,220

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	福岡城むかし探訪館でのイベント実施	目標	4	4	年度
		実績	4	4	4
		達成率	100.0%	100.0%	-
	デジタル回遊システムツアー参加者数	目標	6,500	3,000	年度
		実績	5,598	1,702	3000
		達成率	86.1%	56.7%	-
(KPI)の指標	福岡城むかし探訪館来館者数	目標	55,000	50,000	年度
		実績	73,925	33,273	51,000
		達成率	134.4%	66.5%	-
	三の丸スクエア来館者数	目標	-	20,000	年度
		実績	14,280	32,301	21,000
		達成率	-	161.5%	-

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標

成果の指標

施策成果指標

大

小

小

大

行政のコントロール要素

外的な要因

①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)

デジタル回遊システムの運用、福岡城むかし探訪館でのイベント実施

②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)

デジタル回遊システムツアーへの参加者数が増加

③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)

福岡城むかし探訪館及び福岡城・鴻臚館案内処三の丸スクエア来館者数の増加

④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)

入込観光客数の増加

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	観光プロモーション事業(消費・投資・重点)
事業開始年度	平成26年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 第三次産業への従事者が大多数を占める本市において、観光産業は消費による波及効果の裾野が広く、都市の成長にとって観光客の誘致は非常に効果的であるため。

所管課名		経済観光文化局		観光コンベンション部		プロモーション推進課	
基本 計画	施策コード	主 5-6-1	再				
	分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている					
	施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進					
	事業群	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進					
施策 成果 指標	○入込観光客数2,000万人(2022年) ○外国人入国者数250万人(2022年)						

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 国内外の旅行者	対象をどのような状態にしたいのか 福岡に興味関心を持ち、福岡を訪れる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
観光関係協議会における広域連携による取り組みに加え、主として、国内では3大都市圏、海外では直行便の就航するアジアの主要都市などに対し、市場の嗜好性に合わせたプロモーションを実施した。			

- 観光関係協議会による活動
- タイ・インドネシアにおけるトッププロモーション
- 現地説明会開催や観光展出演等によるPR
- メディア等を活用した情報発信
- 釜山・福岡アジアゲートウェイ(釜山広域市との共同PR)

事業費(千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
歳出合計		51,557	50,225	35,904
歳入	特定財源	3	-	-
	一般財源	51,554	50,225	35,904

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	情報発信・招請事業の件数	目標	15	15	年度
		実績	21		-
		達成率	140.0%		-
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標)	入込観光客数	目標	-	18,200,000	34年度
		実績	18,550,000		20,000,000
		達成率	-		-
	外国人入国者数	目標	-	1,500,000	34年度
		実績	1,200,516		2,500,000
		達成率	-		-

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素
	招請事業やロケ地誘致を含め、現地メディアを活用した情報発信や現地プロモーションなどにより観光都市福岡のPRを実施。	
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	
	現地において福岡市の情報に接する機会が増加する	
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	外的な要因
	福岡市の魅力が訴求され、来福意欲が醸成される	
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	
	来福観光客が増加する	

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	外国クルーズ客船受入事業	所管課名	経済観光文化局	観光コンベンション部	プロモーション推進課
事業開始年度	平成20年度	基本	施策コード	主 5-6-2	再
根拠法令	なし	分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
行政計画上の位置づけ	なし	計画	施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進	
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 短時間の寄港地滞在時間でクルーズ観光客にスムーズに観光やショッピングを楽しんでいただくために、福岡を十分に満喫していただけるような取り組みを官民あげて実施する必要があるため。	施策成果指標	事業群	クルーズ客拡大への取り組み	
			外航クルーズ客船の寄港回数	250回(2022年)	

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか クルーズ客	対象をどのような状態にしたいのか スムーズに観光やショッピングを楽しみ、クルーズ客の満足度が上がる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法 ☒ 委託含む ☐ 補助金含む ☒ 負担金含む

- (1) 着岸場所(岸壁・博多港国際ターミナル)での対応
- ① 入国管理局、警察等との連絡調整
 - ② 岸壁での歓迎・見送り演出の実施
 - ③ クルーズセンターでの語学ボランティアによる観光案内の実施等
- (2) 受入体制等の充実
- ① 観光バスの天神地区乗り入れの受入協力
 - ② 商業施設と連携した受入体制(外国語対応等)の充実強化等
 - ③ クルーズ商談会の実施
 - ④ 旅行会社・商業施設と連携した寄港地観光ツアーの実施

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	17,311	17,254	16,923
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	17,311	17,254	16,923

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	受入体制の整備	目標	-	-	年度
		実績	-	-	
		達成率	-	-	
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標)	外国クルーズ客船の寄港回数(暦年)	目標	110	110	34年度
		実績	99	245	
		達成率	90.0%	222.7%	250
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標

①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)

ボランティアの配置等受け入れ態勢の整備を実施する。

②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)

クルーズ客に対して、十分な観光案内ができる。

③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)

クルーズ客の満足度が上がり、また福岡に来たいと思う。

④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)

クルーズ客が増加する。

行政のコントロール要素

小

大

外的な要因

小

大

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	欧州プロモーション事業
事業開始年度	平成25年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に アムステルダム直行便の就航を受け、観光・コンテンツ等の魅力を組み合わせた効果的なシティプロモーションを実施し、欧州各国からの観光客の誘致、ビジネス交流などの活性化を図るため。

所管課名		経済観光文化局		観光コンベンション部		プロモーション推進課	
基本 計画	施策コード	主	5-6-1	再			
	分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている					
	施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進					
	事業群	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進					
施策 成果 指標	入込観光客数2,000万人(2022年) 外国人来訪者数250万人(2022年)						

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか オランダをはじめとした欧州市場	対象をどのような状態にしたいのか 福岡の認知度が高まり、福岡に頻繁に訪れてもらう。

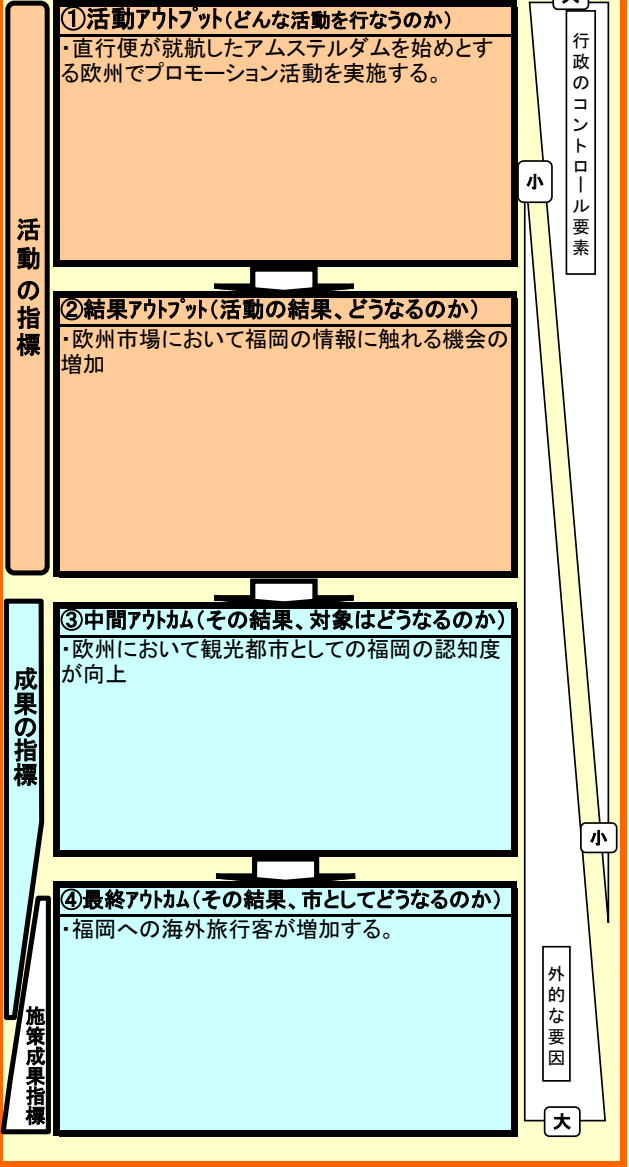
27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む	
・フランスにおいて、福岡市の認知度向上及び誘客促進を図ることを目的に、(1)ケーブルテレビ番組の制作及び放映(2)フランス人ブロガーの招請(3)フランス人シェフの招請(4)パリでの福岡産日本酒試飲会及び来場者へ本市観光情報の発信を実施した。 ・福岡市の認知度向上を図るため、フランス及びイギリスで発行される雑誌を活用した情報発信を実施した。				
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	4,229	3,968	5,140
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	4,229	3,968	5,140

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	プロモーション件数	目標	3	3	年度
		実績	3	6	-
		達成率	100.0%	200.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標) (KPI)	外国人入国者数	目標	-	-	34年度
		実績	1,200,516	2,078,026	1,500,000
		達成率	-	-	2,500,000
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	戦略的情報発信事業(重点)<外国クルーズ客船受入事業>
事業開始年度	平成20年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 短時間の寄港地滞在時間でクルーズ観光客にスムーズに観光や ショッピングを楽しんでいただくために、福岡を十分に満喫していただ けるような取り組みを官民あげて実施する必要があるため。

所管課名	経済観光文化局	観光コンベンション部	プロモーション推進課
基本	施策コード	主 5-6-2	再
分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進		
事業群	クルーズ客拡大への取り組み		
施策成果指標	外航クルーズ客船の寄港回数 250回(2022年)		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか クルーズ客	対象をどのような状態にしたいのか スムーズに観光やショッピングを楽しみ、クルー ズ客の満足度が上がる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法 ☐ 委託含む ☐ 補助金含む ☒ 負担金含む

【外国クルーズ客船受入事業にかかる広報媒体部分】

- ・記念品うちわ増刷18万部
- ・ショッピングガイド制作6万部

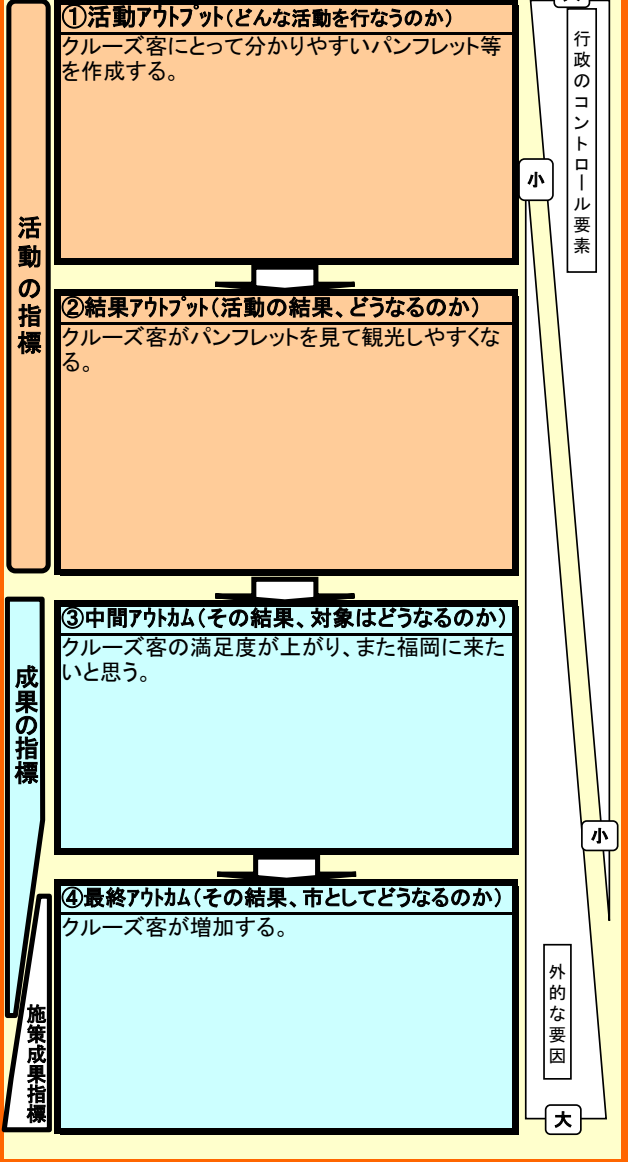
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	6,598	5,241	3,968
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	6,598	5,241	3,968

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容		実 績		目 標	
			26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	パンフレットの作成	目標	-	-	-	年度
		実績	-	-		-
		達成率	-	-		-
		目標				年度
		実績				
		達成率				
(成果の指標)	外航クルーズ客船の寄港回数(暦年)	目標	110	110	130	34年度
		実績	99	245		250
		達成率	90.0%	222.7%		
		目標				年度
		実績				
		達成率				

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	戦略的情報発信事業(消費)(一部)<旧:国内外観光プロモーション事業>
事業開始年度	平成26年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 来福観光客数を増加させるためには、本市の魅力を発信し認知度の向上を図ることが必要であるため。

【事業概要】

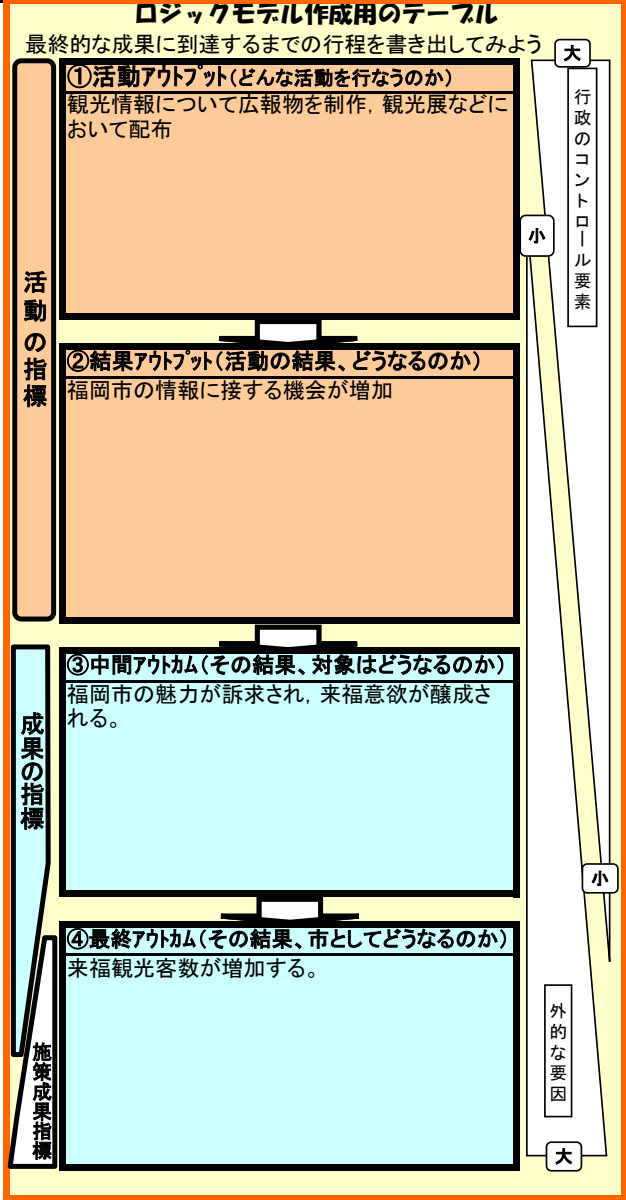
対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 国内外の旅行者	対象をどのような状態にしたいのか 福岡に興味・関心を持ち、福岡を訪れる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む	
実行委員会及びコンベンションビューローへ負担金を拠出し広報物を制作・配布				
・福岡観光ポスターの印刷・配付 ・福岡観光ガイドブックの作成 (作成部数:日40.5万・英7万・韓5万・中(繁体字3万・簡体字3万))				
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	6,264	6,000	6,576
	歳入			
	特定財源	-	-	-
	一般財源	6,264	6,000	6,576

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	観光ガイドブックの発行部数	目標	-	-	年度
		実績	35万部	58.5万部	-
		達成率	-	-	-
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標 KPI)	入込観光客数	目標	-	-	34年度
		実績	18,550,000	未公表	18,200,000
		達成率	-	-	20,000,000
	外国人入国者数	目標	-	-	34年度
		実績	1,200,516	2,078,026	1,500,000
		達成率	-	-	2,500,000

所管課名		経済観光文化局 観光コンベンション部		プロモーション推進課		
基本 計画	施策コード	主5-6-1	再			
	分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
	施策	国内外への戦略的なプロモーションの推進				
	事業群	シティプロモーション、ブランドイメージアップの推進				
	施策成果指標	入込観光客数2,000万人(2022年) 外国人来訪者数250万人(2022年)				



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		MICE誘致推進事業	所管課名	経済観光文化局	観光コンベンション部	MICE推進課		
事業開始年度		平成13年度	基本 計 画	施策コード	主 5-4-2	再		
根拠法令		なし		分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている			
行政計画上の位置づけ		なし		施策	交流がビジネスを生むMICE拠点の形成			
				事業群	MICE誘致の推進			
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に MICEは都市の魅力を発信し、裾野の広い関連産業の振興につながるなど経済波及効果が高く、文化・スポーツ・芸術等の発展にも寄与することから、長期的・政策的に振興を図ることとし、開始。		施策 成果 指標	国際コンベンション開催件数: 300件 国内コンベンション誘致件数: 160件				

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか MICEの主催者・参加者	対象をどのような状態にしたいのか MICE主催者が、福岡市の魅力を知り、福岡を開催地として選択する状態。 また、福岡で開催されたMICEの主催者・参加者が福岡の魅力に触れ、個人旅行で再来福したり、広く福岡の魅力を発信する状態。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
・海外の国際会議等の展示会・見本市への出展。 ・国際会議協会(ICCA)のデータベースを活用した戦略的なマーケティング活動。 ・市と(公財)福岡観光コンベンションビューロー、(一財)福岡コンベンションセンターの三者で共働の誘致活動を実施。 ・実務者レベルの会議体を設け、誘致ターゲットのリスト化や、月次レベルの誘致状況等について情報共有を実施。 ・MICE主催者への各種支援(コンベンション開催助成、歓迎バナーの掲出、コンベンションサポートなど)。			

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	74,920	59,257	56,568
	歳入			
	特定財源	-	2,065	2,100
	一般財源	74,920	57,192	54,468

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	国際コンベンション誘致に関する商談件数	目標	-	-	年度
		実績	246	213	-
		達成率	-	-	280
		目標			年度
(成果の指標 KPI)	国際コンベンション開催件数	目標	260 (平成26年)	270 (平成27年)	34年
		実績	336 (平成26年)	未公表	280 (平成28年)
		達成率	129.2%		300
		目標	144	146	34年度
	国内コンベンション誘致件数	実績	126	139	148
		達成率	87.5%	95.2%	160
		目標			
		実績			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素
	・MICE誘致のためのリサーチ、マーケティング ・MICE主催者・参加者への支援や歓迎演出	
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	
	・MICE誘致対象の発掘 ・MICE開催地としての福岡の魅力向上	
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	外的な要因
	・MICE開催地として福岡市を選択する主催者の増加 ・福岡で開催されたMICEの主催者・参加者が福岡の魅力を感じる	
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	
	・福岡市のMICEシティとしての認知度向上 ・MICE開催件数増加による市への経済波及効果上昇 ・MICE主催者・参加者の再来福による経済波及効果上昇	

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		新しいMICEワンストップ体制の運営		所管課名	経済観光文化局	観光コンベンション部	MICE推進課			
事業開始年度		平成26年度		基本 計 画	施策コード	主 5-4-2	再			
根拠法令		なし			分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている				
行政計画上の位置づけ		なし			施策	交流がビジネスを生むMICE拠点の形成				
				事業群	MICE誘致の推進					
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に MICEは都市の魅力を発信し、裾野の広い関連産業の振興につながるなど経済波及効果が高く、文化・スポーツ・芸術等の発展にも寄与することから、長期的・政策的に振興を図ることとし、開始。			施策成果指標	国際コンベンション開催件数: 300件 国内コンベンション誘致件数: 160件					

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか MICEの主催者・参加者	対象をどのような状態にしたいのか MICEの専門組織「Meeting Place Fukuoka」の支援によりMICE主催者が、スムーズにMICEの開催を行える状態。また、MICE主催者・参加者は、ビジネスコーディネーターやユニークベニューなどにより、ビジネスチャンスの獲得や他ではできない体験を得られる状態。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む	
・MICEの専門組織「Meeting Place Fukuoka」の運営により、戦略的なMICE誘致を行うとともに、MICE主催者・参加者への開催支援を実施。 ・MICE参加者と地元企業・生産者等をつなぐビジネスコーディネーターを実施(Food EXPO Kyushu開催にあわせた交流会・訪問商談会の開催、九州アグリノベーションにおいて福岡市ブースを設置し、地元企業への出展要請を実施 など) ・学術や産業分野で影響力を持つ人物を福岡市MICEアンバサダーに委嘱し、キーパーソンとのネットワーク強化ならびに更なるMICE誘致の促進を行った。				

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	56,213	71,630	43,490
	歳入			
	特定財源	-	10,874	11,525
	一般財源	56,213	60,756	31,965

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	国際コンベンション誘致に関する商談件数	目標	-	-	年度
		実績	246	213	-
		達成率	-	-	280
		目標	-	-	年度
(成果の指標 KPI)	国際コンベンション開催件数	目標	260 (平成26年)	270 (平成27年)	34年
		実績	336 (平成26年)	未公表	280 (平成28年)
		達成率	129.2%		300
		目標	144	146	34年度
	国内コンベンション誘致件数	実績	126	139	148
		達成率	87.5%	95.2%	160
		目標			
		実績			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素
	・MICE誘致のためのリサーチ、マーケティング ・MICE主催者・参加者への支援や歓迎演出	小
成果の指標	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	外的な要因
	・MICE誘致対象の発掘 ・MICE誘致決定件数の増加	
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	外的な要因
	・福岡市におけるMICE開催件数の増加 ・MICE主催者・参加者の満足度向上	
施策成果指標	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	外的な要因
	・福岡市のMICEシティとしての認知度向上 ・MICE開催件数増加による市への経済波及効果上昇 ・MICE主催者・参加者の再来福による経済波及効果上昇	

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		歴史・文化遺産まち歩き	所管課名	経済観光文化局	文化財部	文化財保護課
事業開始年度		平成24年度	基本計画	施策コード	主 5-3-1	再
根拠法令		なし		分野別目標	磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている	
行政計画上の位置づけ		なし		施策	情報アクセスや回遊性など、来街者にやさしいおもてなし環境づくり	
				事業群	おもてなしの向上	
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に福岡市内には多くの歴史・文化遺産が存在するが、市民や観光客に十分に知られているとはいえない状況にあった。文化財部が教育委員会から経済観光文化局に移管したこともあり、文化財活用の一環として観光資源としての周知、活用が求められていた。		施策成果指標	観光案内ボランティアの案内人数 15,000人 観光情報サイトのアクセス数 910万PV		

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか ・これまで文化財に関心の薄かった市民。 ・市外からの観光客。	対象をどのような状態にしたいのか ・文化財の存在を知ってもらい、保護意識を高めてもらうきっかけとする。 ・福岡の歴史と文化財を他の観光資源と結びつけて、より幅の広い観光をしてもらう。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	■ 委託含む	□ 補助金含む	□ 負担金含む
・24年度に制作したスマートフォンアプリに、まち歩きルートの追加。 「志賀島ー金印ルート」12月11日運用開始 運用開始に当たっては、志賀島関連の事業を行っている観光振興課、福岡市博物館への情報提供 ・OSバージョンアップへの対応等、システムの維持・管理。			

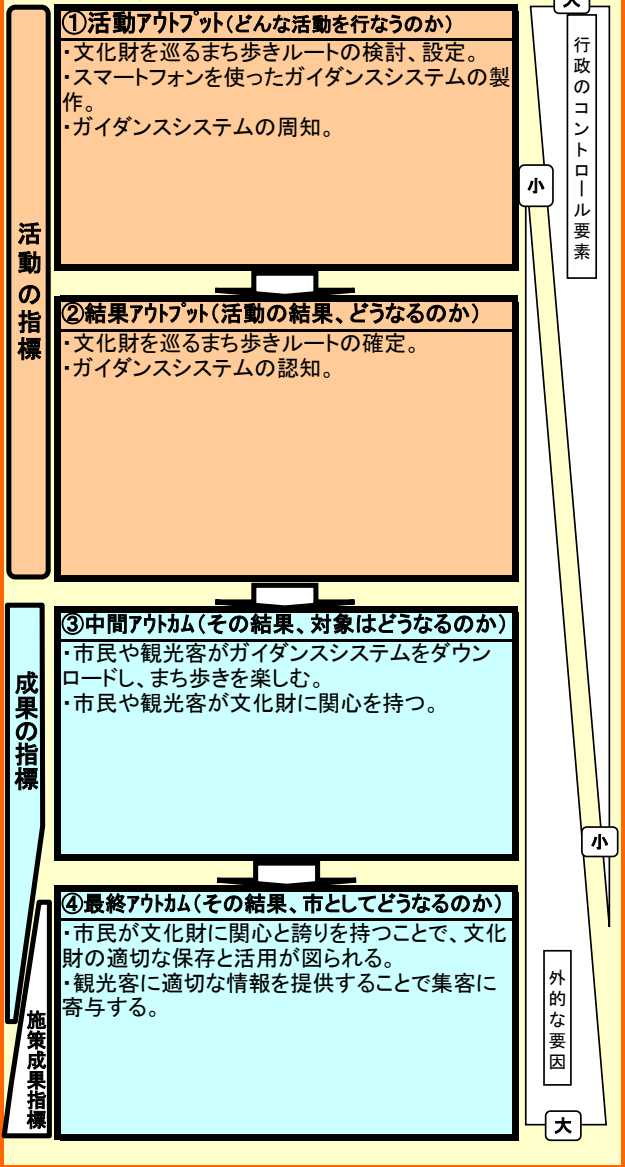
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	2,360	1,041	2,000
	歳入			
	特定財源			
	一般財源	2,360	1,041	2,000

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	製作するガイダンスシステムのルート数	目標	2	1	30年度
		実績	2	1	13
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標			年度
(成果の指標)	システムのダウンロード数(運用開始は25年度から)	目標	30,000	35,000	30年度
		実績	22,294	24,108	50,000
		達成率	74.3%	68.9%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	空港推進事業(福岡空港の滑走路増設、平行誘導路二重化の促進)
事業開始年度	平成15年度
根拠法令	空港法
行政計画上の位置づけ	
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 福岡空港については、将来的に需給が逼迫する等の事態が予想されるとして平成14年国の交通政策審議会航空分科会の答申において、抜本的な空港能力向上方策等についての総合的な調査の必要性が明記された。

所管課名		経済観光文化局	空港対策部	空港整備推進担当		
基本 本 計 画	施策コード	主 8-4-1	再			
	分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている				
	施策	成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり				
	事業群	空港機能の強化、利便性向上				
施策 成果 指標	○福岡空港乗降客数(H28 1,750万人 うち国際線320万人)					

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 福岡空港(空港利用者)	対象をどのような状態にしたいのか 滑走路増設と平行誘導路二重化により、抜本的な空港能力向上を図る(空港利便性向上を図る)。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法 ☐ 委託含む ☐ 補助金含む ☐ 負担金含む

滑走路増設事業については、環境アセスメントや航空法の手続きにおいて、市として円滑な手続きの実施に協力した。

平行誘導路二重化については、国内線ターミナルビル工事等において、市として関係機関と協議、調整を行った。

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	5,815	7,486	6,587
	歳入			
	特定財源	11	8	8
	一般財源	5,804	7,478	6,579

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標		目標			年度
		実績			
		達成率			
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標 KPI)	滑走路増設と平行誘導路二重化の実現	目標	-	-	年度
		実績			
		達成率			
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	- 国による平行誘導路二重化が早期完成するよう市関連事業の調整を行う。 - 国による滑走路増設の早期完成に向けた協力、市関連事業の調整等を行う。	行政のコントロール要素
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	- 平行誘導路二重化事業が円滑に進む。 - 滑走路増設事業が円滑に進む。	
	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	- 平行誘導路二重化の実現による空港能力の向上 - 滑走路増設の実現による空港能力の向上	
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	国内外との交流基盤である福岡空港の機能が強化され、福岡市の国際競争力の向上が実現する。	

成果の指標

施策成果指標

外的な要因

大

小

大